

第2期 (2023-2027)
きゅうじゅう
久重のまちづくり計画

豊かな里山 次代へつなげ!



目次

I はじめに

- 1 第2期久重のまちづくり計画について 2
- 2 久重の地区防災計画について 2
- 3 テーマと基本目標 4
- 4 私たちの久重地域 6

II 計画の内容

- 1 概要 10
- 2 取組内容
 - ① 安全・安心プロジェクト 12
 - ② 地域資源発見・活用プロジェクト 22
 - ③ 移住・定住プロジェクト 30
 - ④ 情報発信・収集プロジェクト 32

III 資料編

- 1 コミュニティ計画について 34
- 2 第1期久重のまちづくり計画 総括 38
- 3 久重地域のいまを知る 40
- 4 計画づくりの経過 44
- 5 計画策定会議 参画者一覧 48
- 6 編集後記 49
- 7 用語集 51

*が付いている文言については、「III 資料編－7 用語集」に説明を記載しています。



I はじめに



「久重型共生社会^{*1}」
の推進で、住み続ける
ことのできる久重を！

2017年（平成29年）8月に第1期計画を作りましたが、それは現状を把握・分析し地域課題としっかり向き合って作り上げたものとは言いがたいものでした。自分たちが住む久重地域の未来を語り合い、豊かな里山を次代へ繋ぎたいという想いでできたものでした。

私たちはこの5年間、計画達成のために夢中で走ってきました。感動や共鳴できたこと、新しい発見や不十分さを感じたこと等、それらの経験がすべて第2期計画の土台となっています。さらに、人口動態の分析や中学生以上全員を対象にした住民アンケートの実施により、地域の実態や要望、不満等を把握しながら地域課題を拾い出し、現実性と科学性を持った第2期計画に仕上げようと挑んできました。

今回の計画づくりに10人を超える小中高校生が計画策定委員として加わり、大きな役割を果たしてくれたことも地域の大きな励みと喜びになっています。このこどもたちはこどもファンド活動等を通してまちづくりに取り組み、SDGs^{*2}等の理念のもと、今後の里山づくりに不可欠な考え方や体験をしっかり積んできています。

少子高齢化の波は、久重地域にも深刻な形で押し寄せてきています。人口は、2022年（令和4年）10月1日現在506世帯1,056人となっており、ピーク時の541世帯（2016年（平成28年））、1,285人（2005年（平成17年））から加速度的に減少しています。内訳をみても14歳以下が96人と初めて100人を切り、15歳～64歳の働き手世代は502人と初めて50%を割りました。そして65歳以上は458人で高齢化率は43.4%と、過去最高を示しています。

こうした現状から、安心して豊かに住み続けることのできるまちづくりをめざして、中山間地域の特性を活かしながら「久重型共生社会^{*1}」を推進していくこととしました。

最後に、計画の実効性を上げるための推進体制を作ることも決めました。計画策定にあたった小中高校生は「久重youth^{*3}（ユース：わかもの）」としてまちづくりの推進役に加わろうとしています。

久重地域は今、里山の輝かしい未来を築いていくために、世代のすべてが力を合わせて進んでいこうとしています。

久重地域連携協議会 会長 林 照男



「第2期久重の
まちづくり計画」
の策定にあたって

このたび、市民と行政の協働により、「豊かな里山次代へつなげ！」をテーマとした『第2期久重のまちづくり計画（以下、「第2期計画」）』を策定いたしました。策定に当たりましては、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

本市では、地域内連携協議会がその活動に計画性と実行性を持ち、将来にわたって持続的なまちづくりを行っていくための指針として、「コミュニティ計画」の策定を推進しております。

久重地域においては、「第1期久重のまちづくり計画（以下、「第1期計画」）」の策定から概ね5年が経過したことから、社会情勢や地域課題等を反映し、第2期計画の策定に取り組んでいただきました。

第1期計画では、豊かな里山の資源を活かした地域主体の取組が多く盛り込まれ、久重地域の困りごとを始め、短歌や川柳の募集等、地域の情報交換ツールとして「オレンジポスト」を設置したほか、「久重豊穰祭」が新たに開催される等、様々な地域の活性化に取り組まれました。一方で、新型コロナウイルス感染症の流行と重なり、事業の中止・規模縮小を余儀なくされ、大変ご苦労されたことと思います。

そんな中、「久重型共生社会^{*1}」の実現に向けた持続可能な計画へのアップデートを目指し、第1期計画の進捗状況を振り返り、事業内容の見直しや課題、地域福祉、生活環境、デジタル社会への対応等について検討が進められ、第2期計画が完成いたしました。

さらに、第2期計画の策定に携わっていただいた、小中高校生を中心としたこどもたちが「久重youth^{*3}（ユース：わかもの）」として、まちづくりの推進役の一員になろうとしていることや、40人を超える計画策定委員の皆様が、今後も計画推進委員としての役割を担っていただけることを大変喜ばしく思っております。

本市といたしましても、第2期計画の実現に向けて、地域の皆様とともに、力を合わせて里山の輝かしい未来づくりに取り組んでまいります。

久重地域の皆様におかれましては、本計画をご覧いただき、多くの方が久重地域のまちづくり活動にご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。

高知市長 岡崎 誠也

1 第2期久重のまちづくり計画について

本計画は、概ね5年後を見据え、今後の久重地域が目指すべき未来や、地域・行政の取組等を示した、地域の想いがまとめられた計画です。第1期久重のまちづくり計画から概ね5年が経過したこともあり、社会情勢や地域の状況等の変化に合わせ、見直しを行いました。

計画策定会議では、久重地域のこどもたちが毎回10人程度参加してくれており、大人とこどもが一緒になって、久重地域の未来を考えました。

本計画を、久重地域における今後5年間の地域活動の指針として、久重地域連携協議会を中心に、地域が一体となって取り組んでいきます。

地域活動の指針として、
参考にしてください！



《テーマ》

豊かな里山 次代へつなげ！

計画の概要

- (1) 計画期間は「概ね5年間」で策定・推進
- (2) 策定・推進の主体は「久重地域連携協議会」
- (3) 登載事業は「住民主体で取り組めるソフト事業」

計画の推進

- (1) 毎年、計画の進捗状況報告会を開催
- (2) 年度初めに取組事業の優先順位を決定
- (3) 年度末に取組事業の達成状況の確認

2 久重の地区防災計画について

久重地域では、第2期久重のまちづくり計画策定に併せて、防災に特化した「久重の地区防災計画」を策定しました。

久重地域では、災害時に住民主体で命を繋いでいけるように、5つの単位自主防災会（重倉地区自主防災会・中山団地自主防災会・久礼野自主防災会・緑ヶ丘団地自主防災会・久礼野団地自主防災会）と入定地区（現あきつ自主防災会）を構成団体とし、2016年（平成28年）4月27日、久重自主防災連合会を結成しました。

自主防災会では、毎年、久重小学校と連携し、防災参観日に併せて地域住民参加型の避難所開設訓練や炊き出し訓練を実施する等、充実した防災活動に取り組んでいます。また、各单位自主防災会では、災害時に避難支援が必要な方の個別避難計画の作成を通じて、日頃の見守り活動や地域のコミュニティの再構築を進めています。

このように、多くの防災活動を進めていくなか、久重地域で「命を守り、命を繋いでいく」ために、今一度災害発生前の事前対策及び災害発生後の対応について、久重地域の住民で協議を重ね、今後実施していく防災の取組について久重の地区防災計画として取りまとめました。



《テーマ》

ささえあいの里山 久重

久重地域の現況

久重地域は、中山間地域に位置するため、南海トラフ地震時に津波浸水の被害はない地域ですが、揺れによる家屋等の倒壊や土砂災害が発生することが予想されます。また、地理的關係により、孤立化することも想定されています。



第2期久重のまちづくり計画 策定会議の実施



全9回のまちづくり計画策定会議や住民アンケート調査結果を通して、今後の久重地域で取り組むべき事業を検討しました。

また、策定会議では、これまでの地域活動を知るきっかけになるとともに、事業を改めて見つめ直す機会となり、地域の結束力の強化にも繋げることができました。

《第2期計画策定の経過と概要》

策定期間：2021年（令和3年）7月17日

～2023年（令和5年）2月11日

- (1) 「久重地域の魅力・課題の洗い出し」
- (2) 「久重のまちづくり計画の振り返り」
- (3) 「新たな事業等の検討」
- (4) 「実施主体の検討」
- (5) 「第2期計画 編集作業」

久重の地区防災計画 策定会議の実施



全12回の地区防災計画策定会議や住民アンケート調査結果を通して、久重地域における防災課題の洗い出し、事前対策、災害時の対応等を検討しました。

本計画を、地域の防災活動の指針として、久重自主防災連合会を中心に、様々な団体と連携・協力しながら、防災活動に取り組みます。

《地区防災計画策定の経過と概要》

策定期間：2021年（令和3年）11月8日

～2023年（令和5年）1月16日

- (1) 「課題の洗い出し」
- (2) 「課題解決のアイデア出し」
- (3) 「課題解決のための取組事業」
- (4) 「久重の地区防災計画 編集作業」

住民アンケートの実施



地域活動、防災等に関する住民アンケートを実施し、久重地域における現状や課題の洗い出しを行いました。

住民アンケート調査結果は計画策定会議にて共有され、計画策定の基礎資料として使用されました。

《調査方法》

対象者：久重地域に在住する13歳以上の住民 983人

回答結果：回答数 306件(回答率:31.1%)

期間：2021年(令和3年)7月1日～7月15日



▲住民アンケート調査結果

3 テーマと基本目標

豊かな里山



私たちの住む久重地域は、市街地が一望
味わえ、山・川・田畑といった自然の恵み
です。

私たちは、この里山をこれからも守り
けられるよう、お互いを思いやることの
「SDGs*²（持続可能な開発目標）」を

① 安全・安心プロジェクト



基本目標

安全に安心して住み続けられる里山

- i 久重型共生社会*¹ づくりの取組
- ii 防災・減災の取組
- iii 生活環境整備の取組

② 地域資源発見・活用プロジェクト



基本目標

地域の資源を活かして楽しむ里山

- i 人財発掘・育成の取組
- ii 里山資源保全の取組
- iii 里山資源発見・活用の取組

次代へつなげ！

念

望でき、街の文化と山の文化・国際文化を
みのなかで、人と自然が共生してきた里山

・育てていくとともに、この地域に住み続
ける「久重型共生社会*¹」を目指し、
達成にも目を向けて取り組んでいきます。



目標

③ 移住・定住プロジェクト

基本目標

笑顔が交わり笑顔が増える里山



i 移住・定住につながる取組

④ 情報発信・収集プロジェクト

基本目標

里山の魅力を地域内外に発信



i 情報発信・収集の取組

4 私たちの久重地域

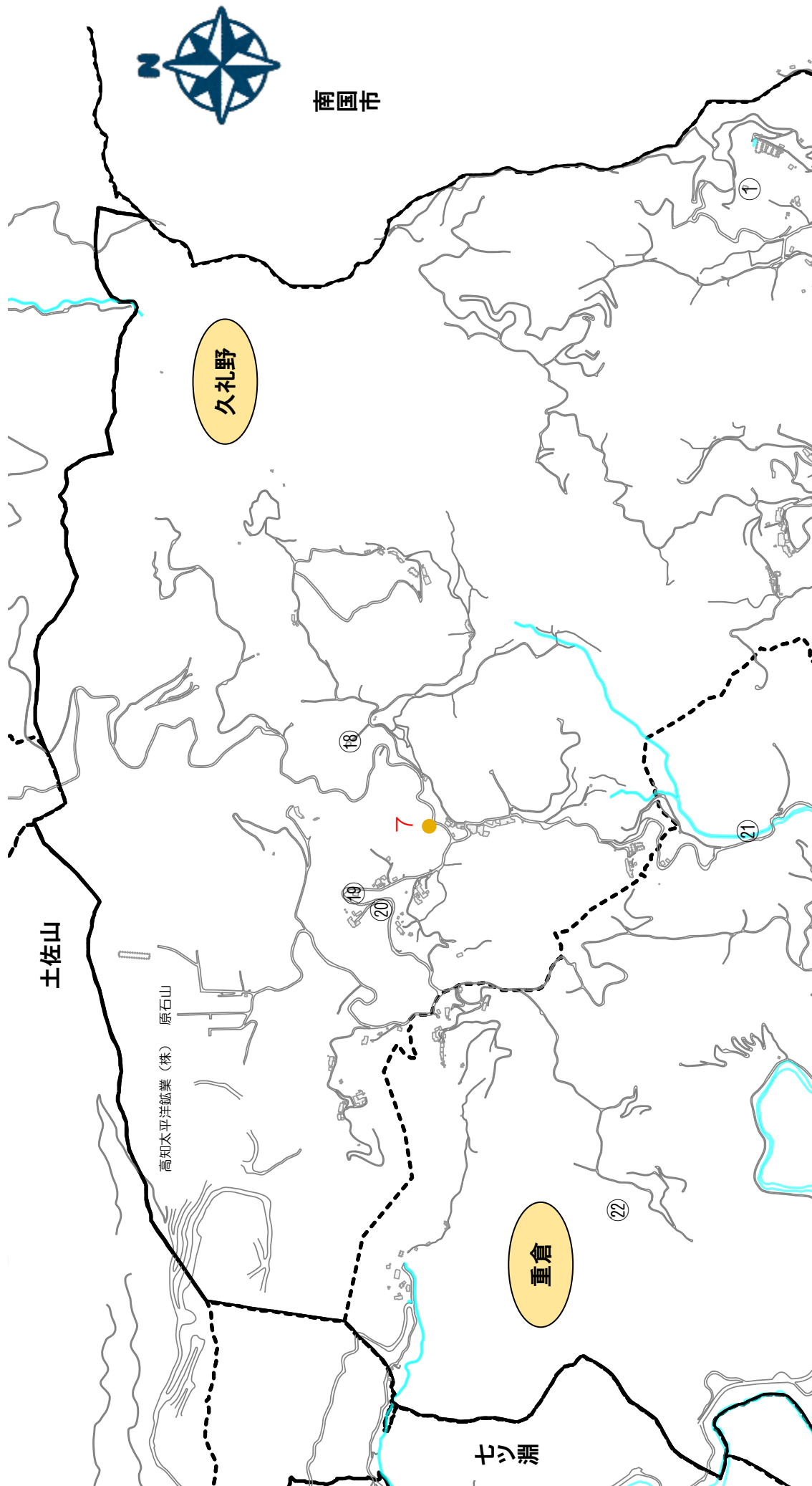
それぞれのプロジェクトにこの地図を活用して、
私たちだけのオリジナル地図の完成を目指そう！

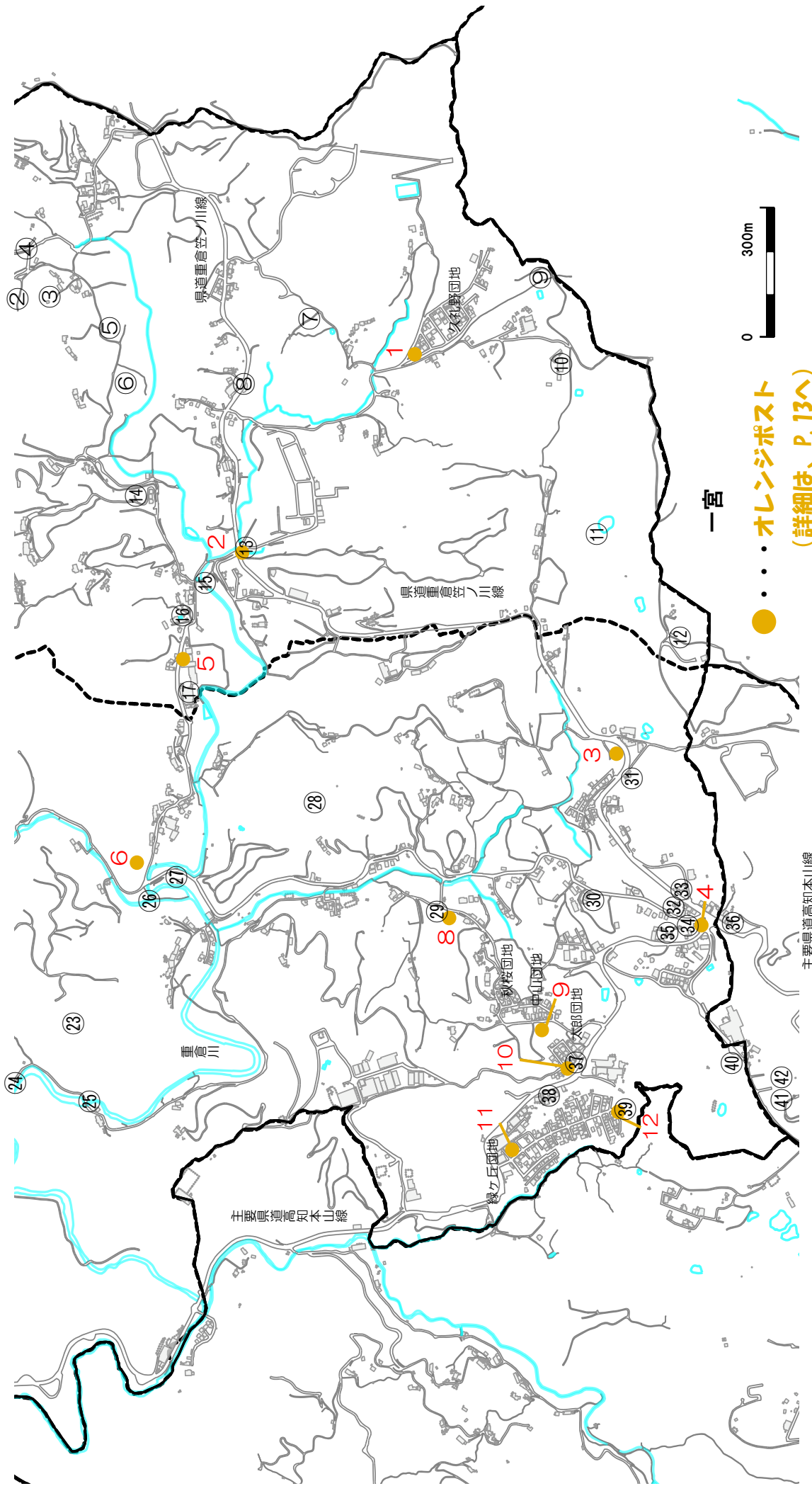
例えば…

好きな場所に
印を付ける

PRポイントを
書き込む

写真を貼る





マップ一覧 (詳細は、P.8～9)					
①地主神社	②久礼野城跡	③阿弥陀堂	④ホテルの里山づくり	⑤農神	⑥御神母様
⑦地主神社御旅所	⑧久礼野茶房	⑨四国のみち	⑩プリタニア乗馬クラブ	⑪高知ゴルフ場	⑫アニマルランド動物墓地
⑬久礼野公民館	⑭高知ラブドッグスクール	⑮ぶどう農園	⑯久重保育園 (とさやま保育園分園)	⑰久重小学校	⑱若一王子宮
⑲入定公民館	⑳入定観音様	㉑亀返橋	㉒高森神社	㉓重倉大権現神社	㉔牛鬼ヶ渚
㉕沈下橋	㉖重倉川親水公園	㉗川内神社	㉘慰霊塔	㉙重倉公民館	㉚保存樹木【スダジイ】
㉛米嶺石	㉜ブルーベリー栽培	㉝JA高知市久重事業所	㉞消防一宮分団久重部	㉟重倉簡易郵便局	㊱mocafe (モカフェ)
㊳重田食品	㊴喫茶 しげくら	㊵緑ヶ丘団地公民館	㊶高知ゴルフ倶楽部	㊷英志台公園	㊸英志台からの眺望

●久重の主な資源

じぬしじんじゃ ①地主神社	くれのじょうせき ②久礼野 城跡	あみたどう ③阿弥陀堂
 久礼野の氏神様	 鳥居から見上げた山の上に、久礼野城の形状だけが残っている	 土佐神社の隣の三十番札所の善楽寺の奥の院と言われていた
さとやま ④ホタルの里山づくり	のうしん ⑤農神	お い げ さ ま ⑥御神母様
 久重naturalチームが令和3年度に設置	 農地を守ってくれる神様	 農業の営みを守ってくれる神様
じぬしじんじゃ おたびしょ ⑦地主神社御旅所	くれのさぼう ⑧久礼野茶房	しこく ⑨四国のみち
 御旅所内にある大きな石は、神様の石とも呼ばれる	 洋食店 初夏には、お店の周りにホタルが飛び交う	 土佐神社から三谷までのルート 高知県が指定
じょうば ⑩ブリタニア 乗馬クラブ	こうち じょう ⑪高知ゴルフ 場	どうぶつ ぼち ⑫アニマルランド動物墓地
 現在では競争馬が余生を過ごす場所になっている	 高知県で最もゴルフ場としての歴史が古い	 わんぱーくこうちの動物園のお墓 飼育員さんがお参りに来ることがある
くれのこうみんかん ⑬久礼野公民館	こうち ⑭高知ラブドッグスクール	のうえん ⑮ぶどう農園
 久礼野地区住民の集いの場	 犬の調教、警察犬の育成を行っている	 良心市で販売 保育園児がぶどう狩りに来る
きゅうじゅう ぼ いくえん ⑯久 重 保育園（とさやま保育園分園）	きゅうじゅうしょうがっこう ⑰久 重 小 学 校	にゃくいちおう じ ぐう ⑱若 一王子宮
 地域のこども（3～5歳）を預かる唯一の保育園	 特認校 高知市唯一の木造校舎	 入定の氏神様 入定の銭太鼓の発祥地
にゅうじょうこうみんかん ⑲入 定 公民館	にゅうじょうかんのんさま ⑳入 定 観 音 様	かめかえりばし ㉑ 亀返橋
 入定地区住民の集いの場	 観音様の前で、お坊さんが入定したため、入定の地名の発祥となった	 入定の入口 亀が登れずひっくり返ることから名付けられた

たかもりじんじや ②②高森神社  山の神様との言い 伝え 現在は川内神社で 祀られている	しげくらだいこんげんじんじや ②③重倉大権現神社  山の神様	うしおに が ぶち ②④牛鬼ヶ渚  別名 うしおぶち プールのない時代 には、久重地域の こどもが泳いでい た
ちん か ばし ②⑤沈下橋  高知市の橋 市内にある沈下橋 はこの橋と、土佐山 の2つしかない	しげくらがわしんすいこうえん ②⑥重倉川親水公園  ホタル等、水生生物 の生息地	かわうちじんじや ②⑦川内神社  重倉の氏神様 昔は相撲大会をし ていた 保存樹木(あすなろ からヒノキ)がある
い れいとう ②⑧慰霊塔  久重小学校南方の 山にある久重地区 全体の戦没者を祀つ た慰霊塔	しげくらくみんかん ②⑨重倉公民館  令和元年建築 重倉地区住民の集 いの場	ほ そんじゅもく ③⑩保存樹木【スタジイ】  400歳近くの樹木 高知市が指定し、地 域の方が管理して いる
こめかみいし ③①米嚙石  石臼の形をしている ことから米嚙石と言 われる	さいばい ③②ブルーベリー栽培  重倉の特産物 街路市にジャム等を 出店	こう ち し きゅうじゅう じ ぎょうしょ ③③JA高知市久 重 事 業 所  市内でも数少ない 事業所
しょうぼう いっく ぶんだんきゅうじゅう ぶ ③④消防 一宮分団 久 重 部  24時間年中無休 仕事中でも火災が 起これば出動	しげくらかん い ゆうびんきょく ③⑤重倉簡易 郵便局  久重地域で窓口業 務を行う唯一の金 融機関	③⑥mocafe (モカフェ)  オムライス、ガバオ ライス、たまごサン ド、夏はかき氷等を 販売している久重 地域のカフェ
しげ た しょくひん ③⑦重田 食品  久重地域の身近な 食品販売店 弁当販売等もして いる	きっさ ③⑧喫茶 しげくら  近隣住民の憩いの 場	みどりがおか だんち こうみんかん ③⑨緑ヶ丘団地公民館  緑ヶ丘団地住民の 集いの場
こう ち く ら ぶ ④⑩高知ゴルフ倶楽部  指定避難所 災害時のヘリコプ ター離着陸場	えい し だいこうえん ④⑪英志台公園  個人が寄付した 唯一の都市公園 現在は高知市が 管理	えい し だい ちょうぼう ④⑫英志台からの 眺望  若者に人気の眺望 スポット

II 計画の内容

1 概要

プロジェクト	大分類	小分類・取組事業（2023～2027年度）	掲載ページ
① 安全・安心プロジェクト	久重型 i 共生社会づくりの取組	01 「助けて」が言える地域に！ ◆「顔の見える」関係性の構築 ◆集いの場づくり 02 みんなの「助けて」をキャッチ！ ◆地域の困りごとを受け止める仕組みづくり ◆「助けて」の意志を可視化 ◆こどもの安全を守る取組 03 さあ、みんなの「助けて」に答えよう！ ◆地域の困りごとへの対応（解決） 04 高齢者が安心して住み続けられるまちに！ ◆高齢者間の出会い、つながりの場の提供 ◆地域主導による移動手段の確保 ◆高齢者の生きがいつくり、健康づくり活動	12～15
	ii 防災・減災の取組	05 自助力向上のための防災啓発 ◆自分の命は自分で守る！事前対策の取組 ◆自助力向上のための防災啓発の取組 06 災害時、みんなが安全に避難するために ◆災害時の安全な避難方法の検討 07 避難行動要支援者を助ける！ ◆避難行動要支援者対策の取組 08 防災訓練と災害時の「食」 ◆様々な訓練の実施 ◆災害時の食についての取組	16～19
	iii 生活環境整備の取組	09 みんなが安心して移動できるように ◆行政等との協議による、公共交通環境改善に向けた取組 ◆行政等との協議による、生活に必要な道路の改善の取組 10 いつだって安全・安心な水を確保するために ◆飲料水（供給施設、井戸水等）の利用実態把握調査の実施 ◆安全・安心な飲料水確保に向けた取組	20～21
② 地域資源発見・活用プロジェクト	i 人財発掘・育成の取組	11 見つけよう！魅力いっぱいの久重の人財！ ◆地域人財の調査・発掘 ◆地域人財の活用 ◆一日先生参観日の企画・開催 ◆地域全体でこどもの主体性を育てる取組の応援 ◆里山を活かしたこどもの遊び場の整備の検討	22

プロジェクト	大分類	小分類・取組事業（2023～2027年度）	掲載ページ
② 地域資源発見・活用プロジェクト	ii 里山資源保全の取組	12 “ふるさと”の原風景を守り、育てる ◆里山の原風景の維持	23
	iii 里山資源発見・活用の取組	13 「光」の魅力発見・活用の取組 ◆ホタルの里山づくりのための生息環境の整備 ◆ホタルを中心としたイベントの実施 ◆クラウドファンディングを利用した資金調達の検討 ◆夜空の魅力を演出したイベントの開催 ◆展望台の整備に向けた検討 14 「食」の魅力発見・活用の取組 ◆地域食材の調査・発掘 ◆地域食材を活かしたイベント等の開催 ◆地域食材を活かした食育の推進 ◆クラウドファンディングを利用した資金調達の検討 15 「花」の魅力発見・活用の取組 ◆花（野の花、景観作物）をテーマにしたイベントの開催 ◆久重地域を花いっぱいにする活動 16 「古」の魅力発見・活用の取組 ◆史跡や昔話、伝統文化の調査 ◆久重史跡巡りツアーの実施 ◆久重地域の歴史資源のPR（地域内） 17 「祭」の魅力発見・活用の取組 ◆地域の祭の発展・継承	24～29
③ 移住・定住プロジェクト	i 移住・定住につながる取組	18 久重地域へ愛（アイ）ターン ◆空き家・空き地情報の収集・整理 ◆地域移住サポーターを中心とした移住者受け入れ体制の整備	30～31
④ 情報発信・収集プロジェクト	i 情報発信・収集の取組	19 みんなでチャレンジ！情報発信・収集！ ◆デジタル・情報機器の仕組みの学習 ◆広報紙等の紙媒体による情報発信 ◆ホームページ、SNSによる情報発信 ◆情報発信のための環境づくり	32～33

2 取組内容

① 安全・安心プロジェクト

i 久重型共生社会づくりの取組

01 福祉

「助けて」が言える地域に！



日常生活のなかで、ちょっとした困りごととはみんな抱えていると思います。そんな時、近所の人や周りの人に気軽に相談できる、“助けてを言える地域”に育んでいきましょう。

“久重地域”が取り組むこと

◆日常でのコミュニケーションを通した“顔の見える”関係性の構築に取り組みます。

- ・あいさつ運動の実施
- ・地域の連絡体制の構築（SNSの活用等）

◆活動拠点の整備等、集いの場づくりに取り組みます。

- ・持ち寄りカフェ^{*4}、サロンの実施
- ・集落活動センターの実現可能性の検討
- ・福祉施設整備の検討
- ・福祉農園^{*5}の開設に向けた検討



▲長浜・御置瀬連携協議会との交流会

集落活動センターをご存じですか？

情報コーナー

集落活動センターは、地域住民の総意により、公共的施設等を拠点にして地域住民が主体となって地域の課題やニーズに対応する様々な地域活動に取り組みます。

【設立状況（2023年（令和5年）1月現在）】

高知県内：65か所

高知市内：3か所（梅ノ木・七ツ淵・仁ノ）

関連する高知市等の取組・支援

◆集落活動センターの仕組みづくりや運営の支援

- ・既存施設の改修等必要となる支援の検討 【地域活性推進課 088-823-8813】
- ・集落活動センター推進事業費補助金の助成 【高知県 中山間地域対策課 088-823-9600】
 - (1) 整備事業・・・市町村事業費の1/2以内 1箇所あたり上限30,000千円/3年度内
 - (2) 人材導入活動事業・・・市町村事業費の1/2以内 1人あたり上限1,650千円/年（最長4年間）
 - (3) 継続・発展支援事業（チャレンジ枠）・・・市町村事業費の1/2以内 上限250千円/年
 - (4) 継続・発展支援事業（本格実施枠）・・・市町村事業費の1/2以内 上限10,000千円/通算

◆市民農園開設に関する支援

市民農園の開設にはいくつかの方法があります。特に許可等を必要としない方法もありますが、もし開設を希望される場合には一度ご相談ください。

【農業委員会 088-823-9484】

02
福祉

みんなの「助けて」をキャッチ！



地域みんなが安心して暮らせる、「支え^愛」、「助け^愛」の里山に向けて、困りごとを相談できる場、キャッチする場を作っていきましょう。

“久重地域”が取り組むこと

◆地域の困りごとを受け止める仕組みづくりに取り組みます。

- ・生活支援ボランティアの立ち上げ（情報コーナー（P.14）を参照）
- ・キッズボランティアの立ち上げ
- ・困りごとを話せる相談窓口設立に向けた検討
- ・「支え合いマップ^{*6}」等の作成による、向こう三軒両隣^{*7}を意識したご近所同士の支え合いの強化
- ・オレンジポストを活用した困りごとの収集



オレンジポスト

困りごとを始め、短歌や川柳、地域の風景の写真等の募集をしています！

◆地域の「助けて」の意志を可視化する工夫の検討に取り組みます。

（困り旗の表示、大人・こども110番、ステッカーの表示等）

◆こどもの安全を守る活動に取り組みます。（ネグレクト^{*8}、不審者等からこどもを守る）

オレンジポストって？

久重地域連携協議会が、福祉とまちづくりの伝言板として、久重地域の困りごとを始め、短歌や川柳、地域の風景写真等の、地域の情報交換ツールとして設置しました。

【取組内容】※設置場所は、P. 6～7

- ・地域内12か所の町内会掲示板に設置 ・回収は毎月2回
- ・投稿は連携協議会ニュースにて報告

情報コーナー

道路補修 公共交通再編
ワクチン申込 犬の放し飼い
市長への申し出 等々

▲投稿実績（一例）

関連する高知市等の取組・支援

◆生活支援ボランティアに関する支援

登録者にはボランティア活動保険が適用されます。また、相談者とボランティア活動者の調整や、活動の際の同行等については高知市社会福祉協議会がマッチング支援します。

【高知市社会福祉協議会 地域協働課 088-823-9570】

◆地域の困りごとに関する支援

・地域の困りごとを地域で解決できる仕組みづくりについて、第2層生活支援コーディネーターや高知市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターと協働して支援します。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

・令和4年度に全市展開した「ほおっちょけん相談窓口」のさらなる拡充に向けて取り組みます。

【地域共生社会推進課 088-821-6513】

◆支え合いマップの作成に関する支援

・地域包括支援センター、高知市社会福祉協議会、地域防災推進課と協働して支援します。【基幹型地域包括支援センター

088-823-9121】

・地域福祉コーディネーターが、地域との協働による運営支援等を行います。

【高知市社会福祉協議会 地域協働課

088-823-9570】

・避難行動要支援者対策の取組の一つとして作成する場合は、必要物品の提供、講師（市職員）派遣、取組にあたっての相談支援等を行います。

【地域防災推進課 088-823-9040】

03
福祉

さあ、みんなの「助けて」に答えよう！



住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくために、地域、行政、学校、こどもから大人まで、みんなが思いやりの気持ちを持って連携・協力して、みんなの“助けて”に答えよう！

“久重地域”が取り組むこと

◆多様な主体との連携・協力を通して、地域の困りごとに対応（解決）します。

- ・生活支援ボランティアによる取組
- ・キッズボランティアによる取組
- ・ボランティアポイント制度等の活用による協力者への援助の検討
- ・民生委員、社協、行政等との連携力の強化
- ・大学、専門学校との連携、協力体制の構築

生活支援ボランティアって？

情報コーナー

生活支援ボランティアとは、「生活上のちょっとした困りごと」をお手伝いしてくれるボランティアです！

原則、①無償である ②身体介助を伴わない ③専門的でない ④短時間（概ね1時間程度）の活動 ⑤継続的でない活動が対象となります。

三里つながりたい（生活支援ボランティア）・三里中学生の資源ごみ出しボランティアの事例

取組団体：三里つながりたい（生活支援ボランティア）

三里中学生 9名程度（夏休み、冬休み期間のみ）

取組内容：資源ごみの運搬や分別のお手伝い

対象：①十津地区の市営住宅・県営住宅にお住まいの方
②自分でごみが出せずに困っている方



当事者の方からは、「自分だけじゃ重くて出せんかった。ありがとう」「本当に助かった」という声が多くあり、中学生もやりがいを感じていたようです！

関連する高知市等の取組・支援

◆ボランティアポイント制度に関する支援（こうち笑顔マイレージ）

世代を超えて地域での支え合い活動の促進を目的に活動内容に応じてポイントを付与して貯めたポイントで、ですかチャージ券や商品券等と交換できる制度です。

具体的な活動内容としては、高知市が指定する受入事業所（介護保険施設等）及び基準緩和型B事業でのボランティア活動と、地域のいきいき百歳体操の参加による健康づくり活動に対してポイントが付与されます。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

04
福祉

高齢者が安心して住み続けられるまちに！



年をとっても、病気になっても、みんなが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らし続けるために、地域活動を通して人と人とのつながりを作りましょう。

“久重地域”が取り組むこと

◆高齢者間の出会い、つながりの場を提供します。

- ・もたもた旅行の実施
- ・久重地域のむかしを語る会（次代へ語り継ぐ）
- ・デジタル（情報機器）学習会（19 情報発信（P.32）と併せて実施）



▲もたもた旅行

◆地域主導による移動手段の確保に取り組みます。

- ・免許返納者等への買い物支援や病院、娯楽施設、イベント等への送迎の検討

◆高齢者の生きがいづくりや、健康寿命の延伸に向けた健康づくり活動に取り組みます。

- ・百歳体操の普及と交流
- ・生涯学習講座や健康づくり教室等の開催
- ・低栄養対策等の食育活動の実施
- ・集団での検診活動への送迎



▲百歳体操交流会

もたもた旅行って？

高齢や障がいのために一般の旅行には参加しづらいと感じる地域住民を対象に、レンタル車両と地元運転手による気兼ねのない日帰り旅行を計画することで、高齢者たちの生きがいやつながりを創出するものです！

情報コーナー

参加者の声

皆さん、ゆっくりしたペースで歩くので私もついて歩いて、普段一人ではできない運動ができてありがたかったです。

気心の知れた人たちと一緒に食べたり、土産物店で買い物できるのでそれがうんと楽しい。

関連する高知市等の取組・支援

◆低栄養対策等の食育活動に関する取組

- ・既存のいきいき百歳体操等定期的な集いの場を対象に栄養士等による栄養改善活動（3か月間4回）支援を行っています。

また、要望に応じて、地域の集まり等で栄養改善に関する健康講座を実施しています。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

- ・食を通じた健康づくりや食育を推進するボランティア活動を行う食生活改善推進員（通称ヘルスメイト）の養成、育成をしています。

【健康増進課 088-803-8005】

◆地域の移動支援に関する支援

- ・運転免許証を自主返納した方を対象に、運転経歴証明書等を提示してもらうことで、公共交通の運賃割引等の「移動支援」、商品割引等の「生活支援」を行っています。

【高知県警察 088-826-0110】

- ・地域のニーズに応じて、基準緩和型B事業と一体的な移動支援を検討します。

【基幹型地域包括支援センター 088-823-9121】

05
防災

自助力向上のための防災啓発



今後、30年以内に70～80%の確率で発生されている南海トラフ地震。日頃の備えが大事ということは皆さんご存知かと思いますが、今一度防災意識を高めましょう。

“久重地域”が取り組むこと

◆自分の命は自分で守る！をモットーに、事前対策に取り組めます。

- ・ 自宅の耐震診断及び耐震改修の実施
- ・ 家具等転倒防止対策の実施
- ・ 災害時の家族との安否確認方法や連絡手段について事前に決定
- ・ 自宅周辺の危険箇所の確認
- ・ 備蓄目標を立て、毎年、達成状況を自己評価
- ・ 通電火災等を防ぐため、感震ブレーカー^{*9}を設置
- ・ 消火器を各家庭に1台準備
- ・ 非常持ち出し袋の準備



◆自助力を高めるために、防災啓発に取り組めます。

- ・ 実際に避難所生活でどのようなものがいいのかシミュレーションの実施
- ・ 感震ブレーカー^{*9}等、まだ知られていない防災用品の学習会の実施
- ・ 防災マップの作成
- ・ 危険箇所を示す看板の設置
- ・ 防災学習会（救命講習・土砂災害・家具等転倒防止対策等）の実施
- ・ 情報伝達する仕組みづくり（SNSの活用等）
- ・ 防災参観日に地域住民が参加できるよう久重小学校との連携
- ・ 防災キャンプの実施
- ・ 防災運動会の実施



▲逃げ地図づくり

関連する高知市等の取組・支援

◆耐震等に関する支援

- ・ 家具等転倒防止対策支援事業 【地域防災推進課 088-823-9040】
- ・ 住宅耐震改修費等補助金交付事業 【建築指導課 088-823-9470】
- ・ ブロック塀等耐震対策事業 【建築指導課 088-823-9470】

◆講習会に関する支援（あなたに届け隊 出前講座）

地域の要望に応じて、防災に関する講習会の依頼を受けます。

【広聴広報課 088-823-9446】

06
防災

災害時、みんなが安全に避難するために

久重地域は、津波浸水区域ではありませんが、危険な場所にいる場合は、建物が倒れてこない場所や土砂災害のおそれがない場所等に避難する必要があります。

“久重地域”が取り組むこと

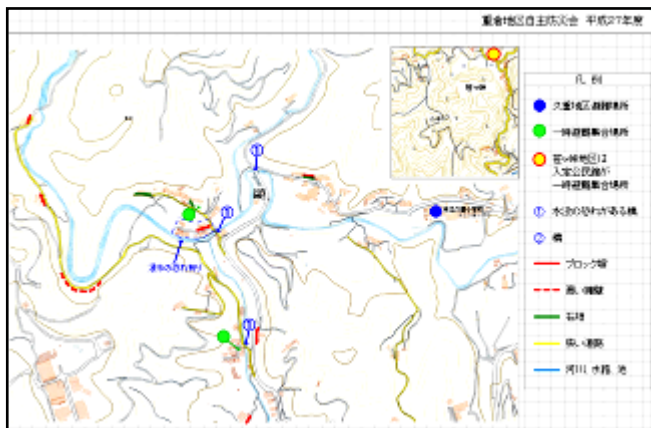
◆災害時の安全な避難方法について取り組みます。

- ・ 夜間の避難に備え、非常持ち出し袋の中にヘッドライトの準備
- ・ 歩いて避難することは危険であるため、近隣の安否確認をしながら車で避難
- ・ 一人暮らしの方の避難の有無を確認するために、避難完了カードの作成
- ・ 避難場所までの避難経路の周知
- ・ 何年かごとに逃げ地図の更新や危険箇所の確認
- ・ 避難経路における草刈りの実施
- ・ 市街地から歩いて久重地域に行けるルートの周知
- ・ 災害時に通行できるルートを知るために防災ハイキングの実施



▲防災探検（市街地から久重地域までの避難ルートの確認）

久重地域の防災マップを知っていますか？



情報コーナー

重倉地区自主防災会では、避難所、ブロック塀や高い擁壁がある場所、狭い道路等を記した防災マップを作成しています。

また、久重小学校では防災学習の一環で地域の自主防災会の方と一緒に、避難所や危険箇所等を記した防災マップの作成を行っています。

防災マップを作成することで、地域の特性を知ることができます。

関連する高知市等の取組・支援

◆自主防災会への支援

自主防災会が活動する際に必要となる費用に対する補助をしています。

（高知市自主防災組織等育成強化事業費補助金）

【地域防災推進課 088-823-9040】

◆講習会に関する支援（あなたに届け隊 出前講座）

地域の要望に応じて、防災に関する講習会の依頼を受けます。

【広聴広報課 088-823-9446】

07
防災

避難行動要支援者を助ける！



地域の中には、災害時に、自力での避難が困難な方が多くいます。久重地域で「命を守り、命をつないでいく」ため、地域で避難行動要支援者対策に取り組みましょう！

“久重地域”が取り組むこと

◆災害時に誰一人取り残さないために、避難行動要支援者対策に取り組みます。

- ・ 向こう三軒両隣の人と日頃から交流
- ・ 顔の見える関係性を構築するために、挨拶、ごみ拾い、草刈りの実施
- ・ 日頃から集まれる場所や機会づくり
- ・ 同じ班の中で、どの家に誰がいるのかを把握
- ・ 昼間と夜間で分けて個別避難計画を作成
- ・ 避難の際に必要なリヤカー等を準備し、夜間の避難方法について周知を実施
- ・ 避難行動要支援者ご本人と若者（中高生等）との交流
- ・ 民生委員と協力した独居世帯の把握
- ・ 各地区で、避難行動要支援者の取組説明会を実施
- ・ 避難支援実施者に対して、支援方法の講習会を実施

避難行動要支援者とは？

情報コーナー

災害時に避難支援が必要な方を「避難行動要支援者」と言います。
高知市では、「避難行動要支援者」に該当する方は、以下のとおりです。

- ①要介護認定3～5を受けている方
- ②身体障がい者手帳1・2級（総合等級）を所持する方
- ③療育手帳Aを所持する方
- ④精神障がい者保健福祉手帳1級を所持する方
- ⑤日常生活において部分介助及び全面介助を要する在宅難病患者
- ⑥上記以外で特に支援の必要があり、支援を希望する方



▲避難行動要支援者対策

関連する高知市等の取組・支援

◆自主防災会への支援

自主防災会が活動する際に必要となる費用に対する補助をしています。

（高知市自主防災組織等育成強化事業費補助金）

【地域防災推進課 088-823-9040】

◆支え合いマップづくりに関する支援

白地図に避難行動要支援者のご本人の自宅や避難支援実施者等を記入し、近所の繋がりの見える化を行います。

【地域防災推進課 088-823-9040】

08
防災

防災訓練と災害時の「食」



いざという時に備えて、日頃から防災訓練に参加し、災害時の避難生活等についてみんなで考えてみませんか？

“久重地域”が取り組むこと

◆いざという時に備え、様々な訓練を実施します。

- ・久重小学校避難所開設訓練、炊き出し訓練の実施
- ・避難所運営マニュアル概要版の作成
- ・レクリエーションを取り入れながら、誰でも楽しく参加できる訓練の実施
(防災キャンプ・車中泊訓練・テント泊訓練)
- ・垂直避難訓練^{*10}の実施
- ・停電時の水の供給訓練の実施
- ・知人宅等への分散避難訓練の実施
- ・非常持ち出し袋を持参した訓練の実施
- ・久重コミュニティカレンダーに、防災プチ情報を記載
- ・様々なイベントで防災ブースを展開（クイズやゲーム等）

◆災害時の食について取り組みます。

- ・竹を使用した米の炊飯
- ・久重地域の食材を使って、こどもたちと防災食クッキングの実施
- ・パッククッキング^{*11}の実施
- ・地域の食材マップづくり
- ・水をろ過する方法の学習



▲防災訓練（救命講習）



▲炊き出し訓練



▲避難所開設訓練

関連する高知市等の取組・支援

◆自主防災会への支援

自主防災会が活動する際に必要となる費用に対する補助をしています。

（高知市自主防災組織等育成強化事業費補助金）

【地域防災推進課 088-823-9040】

◆災害時の食のボランティアに関する取組

食を通じた健康づくりや食育を推進するボランティア活動を行う食生活改善推進員（通称ヘルスメイト）の養成・育成をしています。

【健康増進課 088-803-8005】

09
交通・道路

みんなが安心して移動できるように



誰もが使いやすい、生活に密着した公共交通の将来像や、安全・安心な道路を目指して今地域にできることをみんなで考えましょう！

“久重地域”が取り組むこと

◆行政等と協議しながら、公共交通環境の改善に取り組みます。

- ・行政等と協議した、誰もが安心できる公共交通環境の確保
- ・オレンジポスト等を活用した公共交通のニーズ調査の実施

◆行政等と協議しながら、地域内の生活に必要な道路の改善について取り組みます。

- ・通学路等のLC（Look & Check）運動^{*12}
- ・共同作業による道路縁の草刈りの実施

予約（デマンド）型乗合タクシーって？



情報コーナー

公共交通 予約（デマンド）型乗合タクシー

2022年
(令和4年)
10月改正

久重 かわせみ号

- 久重地域内の“ご自宅近く”から“乗り換えポイントや指定のバス停”までタクシー車両がきめ細かく運行する“公共交通”です。
- 利用するには、乗りたい便の“予約”が必要です。
- 予約があればお一人でも運行します。
- 小坂峠バス停・土佐山庁舎前バス停・中秦泉寺バス停でバスに乗り換えて、市中心部へ行くことができます。

関連する高知市等の取組・支援

◆予約（デマンド）型乗合タクシーの活用等地域内公共交通のあり方を検討します。

【交通戦略課 088-803-4317】

◆市道一宮2号線の久礼野公民館前から久重小学校までの区間の改良工事に取り組みます。

◆道路、区画線等の改修に関する支援

現地調査等を行い、緊急性の高いものについて、予算の範囲内において、順次対応します。

【道路整備課 088-823-9461、道路管理課 088-823-9379】

10
飲料水

いつだって安全・安心な水を確保するために



生きていくうえで、必要不可欠な「水」。いつ、どんな時も安全・安心な水を確保できるよう解決策をみんなで探りましょう。

“久重地域”が取り組むこと

◆飲料水（供給施設、井戸水等）の利用実態把握調査を実施します。

- ・地域内の飲料水（供給施設、井戸水等）の実態把握

◆安全・安心な飲料水確保に向けて取り組みます。

- ・課題解決に向けた地域の話し合いの場づくり
(久重地域への上水道の延伸等)
- ・補助制度の改善等、行政への働きかけの実施

久重地域の飲料水供給施設数

9施設（約230戸が利用）

- └ 1施設が業者管理
- └ 8施設が地域管理

飲料水供給施設の実情（コスモス団地）

コスモス団地では、地下水を汲み上げ、第一貯水槽タンクから第二貯水槽タンクへ、そして各家庭に配水しています。当番制で検診、水道料徴収。2022年（令和4年）に水道組合を設立し、年一回のタンクや設備周辺の清掃やタンク修繕工事や水道管理についての班会等、地域の皆さんの理解・協力のもと取り組んでいます。

2021年（令和3年）、2022年（令和4年）には「冬の湧水で水が出ない！」といった問題が起き、業者依頼で給水を行い、それぞれ32万円、65万円と支払い、普段の水道代の約10倍になり、各家庭が痛手を受けました。

晴天が続くと、「湧水ランプが付いていないか？」「水はタンクに貯まっているのか？」「天気予報はどうか？」と確認しながら自然に感謝し、各家庭に水が使えるように水道組合として頑張っています。

【コスモス団地水道組合長 山崎 智加】

情報コーナー

各地域の水道組合長が集まり、飲料水供給施設の管理方法・実情等の情報共有を行っています。



▲飲料水問題意見交換会のようす

関連する高知市等の取組・支援

◆飲料水供給施設の整備の支援

- ・飲料水供給施設等整備事業費補助金（県・市）
補助対象事業経費の7割を県・市で1/2ずつ補助します。
※2022年度（令和4年度）～2024年度（令和6年度）の3か年計画を策定済み
- ・飲料水供給施設等整備事業費補助金（市単独）
補助対象経費の6割を市で補助します。

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】



▲飲料水供給施設整備
(緑ヶ丘団地専用水道)

11
人財発掘

見つけよう！魅力いっぱいの久重の人財！



久重地域にはいろんな得意分野を持った、魅力あふれる人財がたくさん！そんな方々を発掘したり、これからを担う人財を育成し、さらに久重地域を盛り上げていきましょう。

“久重地域”が取り組むこと

◆地域人財の調査・発掘に取り組めます。

- ・アンケート等による地域人財の調査
- ・イベント等で特技披露の場を設ける
- ・展示会の開催（地域の手芸作品等）

◆地域人財の活用に取り組めます。

- ・人財データ^{*13}の作成
- ・人財マップの作成

◆一日先生参観日の企画・開催に取り組めます。

- ・地域向け講座の開催の検討

◆地域全体でこどもの主体性を育てる取組を応援します。

- ・こどもの活動が発表できる場の提供（こうちこどもファンドの取組を地域に周知する場の提供）
- ・こうちこどもファンドへの地域協力
- ・久重youth^{*3}（ユース：わかもの）の設立
- ・イベント等でこどもが主体的に運営できる場の提供

◆里山を活かしたこどもの遊び場の整備を検討します。

- ・自然を活かしたアスレチック広場の整備の検討



人は地域の宝であり、ともに地域を盛り上げていく人たちを、久重地域では「人財」としています！



▲こうちこどもファンド事業
公開審査会（久重naturalチーム）

関連する高知市等の取組・支援

◆地域人財の活用に関する支援

地域学校協働本部事業による「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校づくりや学校を核とした地域づくりの支援を行います。

【学校教育課 088-823-9479】

◆こうちこどもファンド事業に関する支援

高知市こどもまちづくり基金を原資としてこどもたちの自発的なまちづくり活動を支援します。

助成金額：上限200千円

【地域コミュニティ推進課 088-823-9080】

12
里山保全

“ふるさと”の原風景を守り、育てる



久重地域の原風景をみんなで守っていきませんか？イノシシ等の有害鳥獣対策や耕作放棄地の発生防止等、鏡川源流でもある久重地域の豊かな里山をみんなで次代につなげましょう！

“久重地域”が取り組むこと

◆里山の原風景の維持に取り組めます。

- ・耕作放棄地の発生防止・解消
- ・農業の担い手の育成
- ・有害鳥獣害対策の実施
- ・竹林の整備



▲里山の原風景



▲里山原風景保全 草刈り



▲整備された竹林



▲有害鳥獣防止柵 保守点検



▲休耕田

地域の資源を活かして楽しむ里山

関連する高知市等の取組・支援

◆地域による鳥獣害対策の支援

- ・有害鳥獣捕獲報償金制度
 - ・鳥獣被害防止総合対策事業（国事業）
 - ・高知市鳥獣被害防止柵設置支援事業費補助金
 - ・高知市新規狩猟者確保事業費補助金
- 【農林水産課 088-823-9458】

◆就農に係る支援

中山間地域の農業衰退に歯止めをかけることを目的に、地域農業の後継者育成のため、Uターン就農者や親元就農者等を対象に補助金を交付します。

対象者：新規就農者、新規就農者に対して研修を行う団体等

【土佐山地域振興課 088-895-2312】

13
光の魅力

「光」の魅力発見・活用の取組



高知市街地から車で20分！「すぐそこにある里山」久重。昼は重倉川の水面が輝き、夜はホテルや街の夜景が輝く。そんな、久重地域の「光」の魅力をみんなで楽しもう！

“久重地域”が取り組むこと

◆ホテルの里山づくりのための生息環境の整備に取り組みます。

- ・草刈りの実施や看板等の整備
- ・ホテルに詳しい後継者の育成

◆ホテルを中心としたイベントを実施します。

- ・地域向けのホテルイベントの実施
- ・ホテルグッズの作成
- ・ホテル物語の発刊

◆クラウドファンディング^{*14}を利用した資金調達を検討します。

◆夜空の魅力を演出したイベントを開催します。

- ・星空観察会の実施（久重naturalチームが星空を解説）
- ・里山ナイトウォーキングの実施
- ・夜景スポットのマップ作り
- ・HP等による情報発信（19 情報発信（P.32）と併せて実施）

◆展望台の整備に向けた検討



▲ホテル学習会

▲ホテル保全看板の設置
（久重naturalチーム）

▲久重地域のホテル

▲星空観察会
（久重naturalチーム）

▲ホテル保全 草刈り



▲里山歩きとホテルの夕べ in久重

関連する高知市等の取組・支援

◆ホテルの生息環境整備等に係る取組

ホテルの住む里山の自然観察を行い、夜は飛び交うホテルを觀賞して、家族や参加者同士で自然の不思議や環境の大切さを感じてもらうことを目的とし、「里山歩きとホテルの夕べin久重」という環境学習会を例年実施しています。

【新エネルギー・環境政策課 088-823-9209】

14
食の魅力

「食」の魅力発見・活用の取組



久重地域には魅力あふれる食材がいっぱい！地域食材を活かしたさまざまイベントを開催しながら、五感全てで久重の「食」を味わおう！

“久重地域”が取り組むこと

◆地域食材の調査・発掘に取り組めます。

- ・食材ハイキングの実施
- ・食用を見分ける小冊子の作成等、有用植物等の食材データづくり（防災活動と併せて実施）

◆地域食材を活かしたイベント等を開催します。

- ・地域の人にも楽しめる七草フェスタ（春・秋）
- ・移住者向けの山菜ツアーの実施
- ・地域食材を活かした料理教室の開催

◆地域食材を活かした食育の推進に取り組めます。

- ・地域食材を活かしたレシピづくり
- ・地域食材を活かす場づくりの検討
（小学校に地域食材の菜園を作る等）
- ・日曜市で地域食材を販売、レシピの提供

◆クラウドファンディング^{*14}を利用した資金調達を検討します。

▲七草フェスタ



▲七草粥

地域の資源を活かして楽しむ里山

『久重の久宝茶 -kyuhocha-』レシピ紹介(久重naturalチーム)

情報コーナー

久重の久宝茶は、久重地域で採取した有用植物を乾燥・保存し、九種類をブレンドしたものです。久重地域のこどもたちが、有用植物を収集し、レシピを作りました！

- | | |
|---------------|------------|
| ・カキドオシ … 0.5g | ・柿の皮 … 1g |
| ・ドクダミ … 0.5g | ・オオバコ … 1g |
| ・シナモンの葉 … 1g | ・ヨモギ … 1g |
| ・ユズの皮 … 4g | ・クマザサ … 1g |
| ・スギナ … 1g | |

▲久重の久宝茶づくりの様子
(久重naturalチーム)

15
花の魅力

「花」の魅力発見・活用の取組



花や植物には心を癒してくれる効果があります。花に囲まれて暮らせる、そんな「ほっとひと息できる里山」をみんなで育てていきましょう！

“久重地域”が取り組むこと

◆花（野の花^{*15}、景観作物^{*16}）をテーマにしたイベントを開催します。

- ・花（野の花）をテーマにした里山ウォークやハイキングの実施
- ・豊穰祭等で、花壇コンテスト（景観作物）を実施
- ・花（景観作物）の交換会（＝花フェア）の開催
- ・休耕田等を利用した花植え（景観作物）イベントの開催
- ・花ハガキづくりの実施（野の花、景観作物）
- ・花の勉強会の開催（野の花、景観作物）

◆久重地域を花いっぱいにする活動に取り組めます。

- ・四季折々の花道（景観作物）の整備



▲ひまわり（景観作物）

久重地域の希少植物

情報コーナー



▲熊谷草



▲イカリソウ



▲ノカンゾウ



▲ユキモチソウ



▲トサノコバイモ



▲シライトソウ

関連する高知市等の取組・支援

◆花苗材料等の支援

花いっぱい会を新規立ち上げた団体には、年間50千円までの花苗を現物支給します。

※対象地は、高知市が所管する公共用地に限ります。

【みどり課 088-823-9469】

◆プランター等の設置許可

県管理道へのプランター等の設置について、交通に支障がなければ、許可しています。

【高知県高知土木事務所 道路管理課 088-882-8646】

◆高知県ふれあいの道づくり支援事業

県管理道の清掃美化や緑化作業等のボランティア活動については、保険加入の支援を行います。

【高知県高知土木事務所 道路管理課

088-882-8646】

16
古の魅力

「古」の魅力発見・活用の取組



過去の歴史は、現在（いま）を生きていく人たちにとっての道しるべ！久重の歴史を振り返り、郷土愛をさらに育もう！

“久重地域”が取り組むこと

◆史跡や昔話、伝統文化の調査をします。

- ・郷土史等の勉強会（＝座談会）の開催
- ・連携協議会ニュースを活用した調査協力の呼びかけ

◆久重史跡巡りツアーを実施します。

- ・里山ウォークの一つのテーマとして実施（昔話を各ポイントで聞く）
- ・ガイドの発掘・育成

◆久重の歴史資源を地域内にPRします。

- ・史跡看板の設置
- ・児童による歴史発表会の実施



▲川内神社



▲地主神社



▲久礼野城跡



▲慰霊塔



▲阿弥陀堂



▲御神母様



▲重倉大権現神社

関連する高知市の取組・支援

◆歴史等の照会等に関する支援

埋蔵文化財「久礼野城跡」を始め、久重の史跡や歴史に関する情報の提供、専門家や研究者の紹介ができます。

【民権・文化財課 088-832-7277】

17
祭の魅力

「祭」の魅力発見・活用の取組



これまでの久重地域の祭りをさらにパワーアップ！

より熱く、より盛大に、地域一丸となって盛り上げよう！

“久重地域”が取り組むこと

◆地域の祭の発展・継承を目指します。

- ・久重豊穰祭、久重里山まつり、春の七草フェスタ、区民運動会、里山ウォーク等のイベントの実施
- ・久重銭太鼓の伝承
- ・こどもファンドで作成したものをイベントで共有

久重豊穰祭

- ・毎年、11月頃に開催
- ・文化祭と産業祭を組み合わせた地域のお祭り



▲クラフトバンド

▲久重銭太鼓伝承プロジェクトチーム



▲餅投げ

久重里山まつり

- ・毎年、夏に開催
- ・小学校の夏まつりと地域の夏祭りを合同で実施



春の七草フェスタ

- ・ 毎年、春に開催
- ・ 七草を採り、七草がゆ、焼き芋等の地域食材を食べたり、演奏会を実施



区民運動会

- ・ 毎年、10月に開催
- ・ 久重地域の住民が集う運動会



▲競技名：わらをもつかむ思い（縄あみ競技）



▲パン食い競争

▲競技名：与作は竹を切る（竹切り競争）

里山ウォーク

- ・ 毎年、春・秋に開催
- ・ 里山の自然を探検





18 移住・定住

久重地域へ愛（アイ）ターン

家族で田舎暮らしをしてみたい！そんな声に、地域として愛を持って愛（アイ）ターン移住・定住を支援します！「移住・定住・久重」を合言葉に、久重家族を増やそう！

“久重地域”が取り組むこと

◆空き家・空き地情報の収集・整理に取り組みます。

- ・ 放置空き家、空き地情報の収集
- ・ 不動産会社と連携した空き家・空き地情報の整理

◆地域移住サポーターを中心とした移住者受け入れ体制の整備に取り組みます。

- ・ 移住希望者へのアンケートの実施（イベント参加者等）
- ・ 久重地域のイベントへの参加呼びかけ
- ・ こどもたちが久重地域の魅力を移住希望者に伝える場の提供
- ・ 住みたいと思える場所づくり



▲地域移住サポーターの方々



▲移住者交流会

関連する高知市等の取組・支援

◆空き家・空き地情報の収集・整理に関する支援

空き家に関する相談全般（近隣からの苦情相談、所有者等からの利活用相談等）を受け付けています。相談内容により庁内関係課や関連機関、高知県の空き家相談窓口へつなぐ等の対応をしています。

【住宅政策課 088-823-9463】

◆空き家バンクに係る支援

中山間地域への移住・定住を支援するため、地域内にある空き家物件に関する情報を移住・定住を希望される方々に提供する「高知市中山間地域空き家情報バンク」を開設しています。

【土佐山地域振興課 088-895-2312】

◆地域移住サポーターによる支援

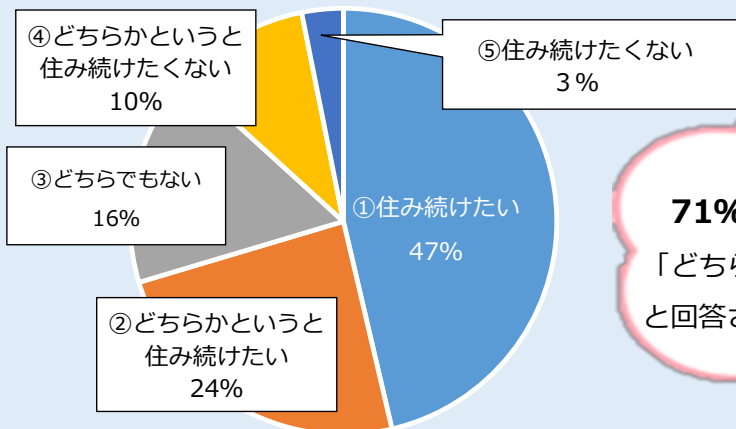
移住希望者や移住者からの相談に対するアドバイスや地域の情報提供を行う制度（市が推薦・県が委嘱）。移住後の不安・心配事の解消や、本市への愛着を感じてもらうことを目的に、本市が開催する移住者交流会にも参加してもらっています。

久重地区の地域移住サポーター 6 名（令和 4 年 6 月 7 日現在）

【地域活性推進課 088-823-8813】

住民アンケート調査結果から見る移住・定住

●久重地域に住み続けたいですか。（選択式）



71%の方が「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と回答されました！



●久重地域に住み続けたい理由（自由回答/一部抜粋）

自然	
・ 空気がきれい ・ 山が好き ・ 野菜や花を楽しめる ・ 夜が静か ・ 気候がいい ・ 里山環境をこどもたちに大切にしたいから ・ 花や蝶が好きで、季節の花やホタル、アサギマダラ等を楽しみたいから	
土地	ひと
・ 津波の心配がない ・ 畑、不動産等の管理のため ・ 立地条件が良い（車がある場合）	・ 人との交流、近所の仲が良い ・ 周囲に身内がいる安心感がある ・ 地域の人との素晴らしい付き合い
生活	子育て
・ 静かで涼しくのんびり過ごせる ・ 家庭菜園を続けたい ・ 中心街に近く、適度に田舎 ・ 近隣住宅との距離感がちょうど良い	・ こどもを自然環境の良い、久重で育てたかった ・ 近隣住宅を気にせず、こどもたちが遊ぶことができる
その他	
・ 結婚 ・ 親の介護 ・ 久重が好きだから ・ 生まれた故郷だから	

住み続けたいと回答した理由のほとんどが人柄や自然等に関することでした！

久重地域のみなさんに住み続けたいと思ってもらえるように、人とのつながりを大切にし、自然環境の維持等に力を入れて取り組んでいきましょう！

19
情報発信

みんなでチャレンジ！情報発信・収集！



デジタル社会の現在、ホームページ・SNS等のさまざまな媒体を活用した、情報の発信がなされています！久重地域でも、デジタル学習に取り組み、全国へ久重地域の魅力を発信しよう！

“久重地域”が取り組むこと

◆デジタル・情報機器の仕組みを学びます。

- ・インターネット・スマートフォン講座の開催
(中・高・大学生に授業をしてもらう。地域のイベントと併せて講座を開く)
- ・インターネット通販の活用の仕方を学ぶ



▲デジタル学習会の様子

◆広報紙等の紙媒体による情報を発信します。

- ・連携協議会ニュースの定期発行
- ・ポスター等による情報発信
- ・地域等への配布物に二次元コード（地域情報）の掲載



▲連携協議会ニュース発送作業

◆ホームページ・SNSによる情報を発信します。

- ・地域の各種魅力の発信（光・花・食・歴史・祭り・人財等）
- ・地域の各種取組の発信
- ・空き家・空き地情報の発信



▲ホームページ製作の様子

◆情報発信のための環境づくりに取り組みます。

- ・情報発信部会の設立
- ・イベント等を告知する広報車の検討
- ・各世帯に届く放送設備整備の検討



▲二次元コード（久重地域連携協議会 ホームページ）

関連する高知市の取組・支援

◆放送設備整備に関する支援

自主防災組織における放送設備設置に対して費用の助成を行っています。

（高知市防災資機材等整備事業費補助金 半額補助、上限750千円）

【地域防災推進課 088-823-9040】

◆地域行事等の情報発信の支援

高知市公式LINEアカウント内に、地域内への行事等の情報発信を行うための環境整備を行います。

【広聴広報課 088-823-9446】

久重地域の情報発信・収集の取組（一例）



コミュニティカレンダーの全戸配布

- ・毎年、4月に発行・配布
- ・久重地域の様々な団体が主催しているイベントや地域活動の年間予定を掲載

地域の年間行事が一目で分かる！

久重地域連携協議会ニュース

の全戸配布

- ・隔月発行、全戸配布
 - ・市長との意見交換会の内容、飲料水問題、オレンジポストの投稿に関する回答、イベント情報等を発信
- 地域の最新情報をお届け！



インターネットによる地域情報の発信

【久重地域連携協議会 Instagram】



久重地域連携協議会

@kyuju.renkei

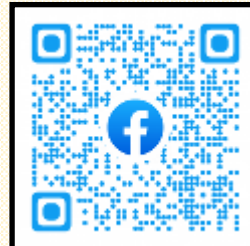


公式Instagram

【久重地域連携協議会 Facebook】



久重地域連携協議会



公式Facebook

里山の魅力を地域内外に発信

Ⅲ 資料編

1 コミュニティ計画について

これまでの取組経過

高知市は、1991年度（平成3年度）策定の「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互に補完・連携する各地区の居住地域（コミュニティ）ごとのまちづくり計画を『コミュニティ計画』と位置づけ、市民と行政のパートナーシップのもと1993年度（平成5年度）から各地区において策定及び推進に取り組んできました。

各地区では、コミュニティ計画の策定に取り組む「コミュニティ計画策定市民会議」が順次設立され、これまでに1,200人を超える多くの市民が参加して、それぞれの計画案が作成されました。

計画案の市長への提言を受けて、本市では、庁内横断組織であるコミュニティ計画策定委員会及び幹事会での調整等を行い、28地区において「コミュニティ計画」を行政計画として策定するとともに、計画を実践する市民主導の自主的組織として各地区で設立された「コミュニティ計画推進市民会議」が中心となって、約20年にわたり計画登載事業の推進に取り組んできました。

また、2003年度（平成15年度）に施行した「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」において『コミュニティ計画の策定と推進』を本市の役割と位置づけるとともに、条例に基づく諸制度を推進してきました。

一方、各地区のコミュニティ計画策定から長期間が経過し、登載事業の多くが既に実施済みであることや、市内約3分の1の地域では計画が未策定であること、計画を策定した当時とは社会情勢が大きく変化していること等から、コミュニティ計画についても、将来的な地域のまちづくりを持続可能なものとするために見直しの必要性が生じています。

【参考】これまでのコミュニティ計画の考え方

- ・市域全体を地域の視点で区分し、それぞれの地区において、土地利用のあり方や生活環境の保全・整備の課題等を検討する計画
- ・各々の居住地域（コミュニティ）で、そこに住む住民の参加と創造による住民自治をベースとし、相互理解と連帯のもと、人間性豊かな心のふれあう地域社会の形成を目指し策定する計画

地域コミュニティ再構築事業の展開

本市では、平成22年度から「地域コミュニティの再構築」に取り組んでいます。

これは、少子化・高齢化や人口減少の進行により、地域活動の担い手不足や住民同士の関係の希薄化といった問題が顕著となってきたなか、将来的にも地域内で住民や団体、また事業者等がお互いに支え合い、助け合えるような社会を作り、また、これからの地域課題の解決に向けて、地域と行政が手を携えて協力していこうというものです。

その中で、概ね小学校区を範囲に、地域内で活動する個人、団体、事業者等がゆるやかにつながり、地域の現状や課題を共有するとともに、課題の解決に向けて連携・協力していくためのプラットフォームとして、各地域での「地域内連携協議会」の設立を提案しています。2023年度（令和5年度）3月時点で市内29地域において設立された地域内連携協議会では、各分野で活動する地域団体が参画し、地域の特性を活かした活動に主体的に取り組んでいます。その一方で、地域のまちづくりの方向性を見据えて、計画性と実効性を持った活動の推進が求められています。

モデル地域における新たなコミュニティ計画策定の方針

本市が設置する「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会」において、2015年度（平成27年度）に今後のコミュニティ計画のあり方について議論された結果、市民と行政の協働の理念に基づき、地域の意見を踏まえてコミュニティ施策の再検討を行うことや、PDCAサイクル（Plan・計画 → Do・実行 → Check・評価 → Action・改善）による計画の検証を実施すること等について、2016年（平成28年）4月に同委員会から市長に対して提言がなされました。

提言を受けて、本市では、現行のコミュニティ計画の考え方を踏まえ、市民と行政の協働を基本として、次に掲げる「計画の構成」、「計画策定・推進の主体」、「計画期間」といった視点を中心に、今後策定するコミュニティ計画について検討を行うこととしました。そこで、これまでのコミュニティ計画未策定の「久重地域」と策定済の「よこせと地域」をモデル地域に選定し、2017年度（平成29年度）に「久重のまちづくり計画2017-2021」、2018年度（平成30年度）に「よこせとコミュニティ計画2018-2022」が策定されました。この結果を踏まえて検証し、新たなコミュニティ計画についての考え方を以下のとおり整理しました。

■ 住主体で取り組めるソフト事業を中心とする

本市では、2003年度（平成15年度）に都市計画区域におけるハード面でのまちづくりの方針や具体的な取組を示した「都市計画マスタープラン」を策定。2013年度（平成25年度）には対象区域を都市計画区域外も含む全市域に拡大し、全地域の地域別構想も盛り込んだ内容としました。これまでのコミュニティ計画に登載していた比較的規模の大きなハード事業は、都市計画マスタープランに登載されているものになります。

こうしたことから、これまでのコミュニティ計画では、ハード・ソフトを問わず、その地域に関係する事業を網羅するものになっておりましたが、新たなコミュニティ計画では、特に地域に関わる防災、福祉、教育、コミュニティ等の分野で、地域の方々の主体的な取組が想定されるソフト事業や、地域コミュニティに関係する比較的規模の小さいハード事業を中心とした計画に見直すこととしました。

■ 計画策定・推進の主体は地域内連携協議会

新たなコミュニティ計画の策定・推進の主体は、地域内連携協議会としています。

これは、各地域で設立された地域内連携協議会において、コミュニティ計画推進市民会議をはじめとする地域の多くの団体が参画し、様々な視点から地域のまちづくりについて自由な意見が交わされる等、まちづくりに関わる中心的な団体となってきたことや、また、地域内連携協議会に参画する各種団体の連携・協力のもと、各地域の特性に応じた活動が実施されていることから、その活動に計画性と実効性を持たせ、将来にわたって持続可能なものとしていきたいと考えているものです。

本市では、地域内連携協議会の運営や活動を支援するため、会議での情報提供等を行う地域活動応援隊職員の配置による人的支援や、地域内連携協議会活動促進事業費補助金等による財政的支援を実施しています。また、高知市地域共生社会推進本部を中心に各担当部署との庁内横断的な連携・調整等を行うことで、市民と行政の協働によるまちづくりを目指しています。

■ 計画期間は5年間

新たなコミュニティ計画では、策定や推進に関わる主体が目標の達成に向けて一定の見通しを立てやすくするように、計画期間を5年間に設定しています。

一方で、将来に向けて持続可能なまちづくりの推進を実現するためには、単年度ごとの活動を通して計画性を持って取り組むことも必要であることから、PDCAサイクルの考え方に沿って進捗状況を確認しながら、随時、計画内容の見直しや更新を行っていきます。

地域においても、それぞれの活動状況等を把握しながら、各年度の事業計画を検討し、実施につなげていくことが望ましいと考えています。

久重地域におけるコミュニティ計画の策定

久重地域では、2015年（平成27年）12月に「久重地域連携協議会」が設立されました。設立後は地域情報の共有や夏祭り等の各種活動等に精力的に取り組む等、地域における様々な活動の実施に向けた意識が醸成されてきています。

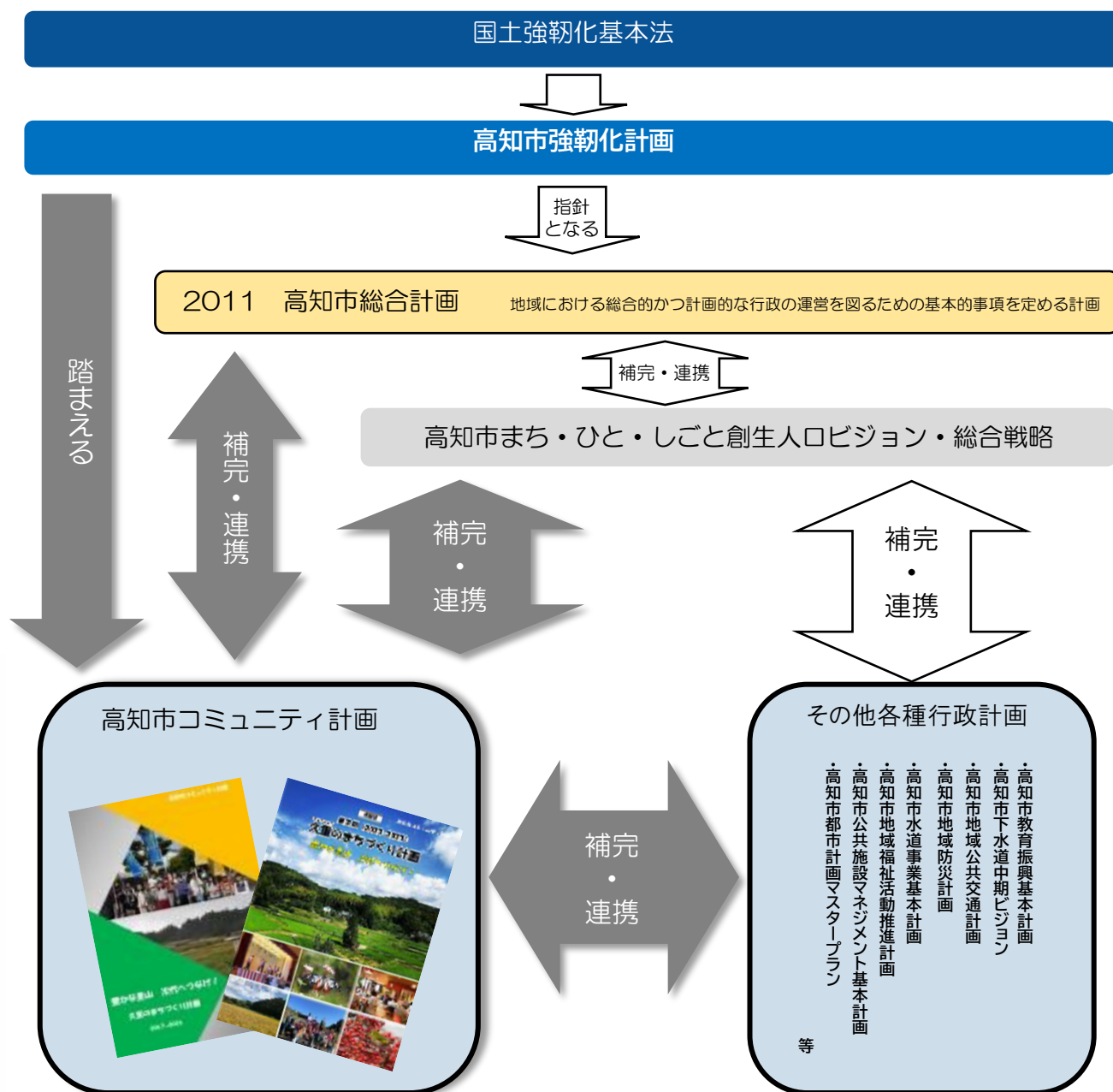
その中で、計画策定に向けた取組の実施について地域の賛同が得られたことから、久重地域連携協議会を計画策定の場として位置付け、地域からの積極的な参画を得ながら、2016年（平成28年）10月から計画策定会議を開催して意見交換を進めました。その後、庁内での調整を経て、『豊かな里山 次代へつなげ！』という将来像を掲げた「久重のまちづくり計画」を「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」に規定するコミュニティ計画として策定しました。



コミュニティ計画と総合計画や各種関連計画との関係

「高知市総合計画1990」において、総合計画と相互補完する行政計画として位置づけたコミュニティ計画は、2016年度（平成28年度）に策定した「2011高知市総合計画（2016基本計画改訂版）」においても、補完・連携するものとしています。

現在、本市を取り巻く状況の変化の中で、各部門別行政計画等との連携を通じた行政内部での部局横断的な対応が求められており、コミュニティ計画が地域における取組と行政の取組について、防災や福祉等の分野の枠を越えて機能的に結びつける役割を担うことが期待されており、その必要性は今後も高まっていくものと考えています。



2 第1期久重のまちづくり計画 総括

第1期久重のまちづくり計画 概要（2017年度（平成29年度）～2022年度（令和4年度））



▲平成29年8月策定
久重のまちづくり計画

●将来像

豊かな里山 次代へつなげ！

※新型コロナウイルス感染症の影響により、計画
期間を2022年度（令和4年度）まで延長しました。

●理念

私たちの住む久重地域は、市街地に近く、街の文化と山の文化・国際文化を味わえ、お城下が一望でき、夏は窓を開けて寝られる『土佐の軽井沢』と呼ばれる素敵な里山です。

私たちは、こんな久重地域が大好きで、これからもこの地域に住み続けられるよう、また、久重地域のファンが増え、交流が生まれ、住んでみたいと思ってもらえるよう、今後5年間、次のような基本目標に基づく取り組みを進めていきたいと考えました。

●計画内容

久重再発見プロジェクト

- 1 安全・安心再発見事業（防災）
- 2 つながり再発見事業
- 3 集いの場再発見事業
- 4 地域資源再発見事業「光」
- 5 地域資源再発見事業「食」
- 6 地域資源再発見事業「花」
- 7 地域資源再発見事業「人」
- 8 地域資源再発見事業「古」
- 9 地域資源再発見事業「祭」
- 10 居住の場再発見事業
- 11 適地調査・土地活用事業

久重強靱化プロジェクト

- 1 交通環境強靱化事業（交通）
- 2 交通環境強靱化事業（道路）
- 3 防災機能強靱化事業
- 4 生活環境強靱化事業（飲料水）
- 5 生活環境強靱化事業（施設）
- 6 荒廃対策強靱化事業
- 7 子育て環境強靱化事業

久重情報発信・収集プロジェクト

- 1 情報発信・収集事業

●基本目標

- ①安全に安心して住み続けられる里山
- ②地域の資源を活かして楽しむ里山
- ③笑顔が交わり笑顔が増える里山

第1期久重のまちづくり計画 策定会議の様子



第1期久重のまちづくり計画 取組実績

●久重再発見プロジェクト

事業名	取組数	主な取組実績
1 安全・安心	3	避難行動要支援者の個別計画の作成と更新 / 久重逃げ地図づくり / 防災訓練・避難所運営訓練・炊き出し訓練の実施
2 つながり	1	もたもた旅行の実施
3 集いの場	1	いきいき百歳体操交流会の実施
4 「光」の魅力	4	星空観察会の実施 / 川の草刈りの実施 / ホタル看板の設置 / 久重公式Instagram、Facebookによる情報の発信
5 「食」の魅力	4	食材ハイキングの実施 / 春の七草フェスタの実施 / 地域食材を活用したレシピの作成・配布 / 久重公式Instagram、Facebookによる情報の発信
6 「花」の魅力	2	里山ウォークの実施 / 久重公式Instagram、Facebook等による情報の発信
7 「人」の魅力	5	連携協ニュースによる人材紹介の実施 / 特技披露の場の提供（豊穰祭） / 一日先生参観日の実施 / 学校通信「里山応援隊」による一日先生参観日の周知 / 人材データの掲載
8 「古」の魅力	2	久重地域の探索の実施 / 久重銭太鼓伝承プロジェクトの製作
9 「祭」の魅力	5	久重里山まつりの実施 / 久重豊穰祭の実施 / 区民運動会の実施 / 地域と学校との夏まつりの合同開催による負担軽減 / 緑ヶ丘団地夏まつりの実施
10 居住の場	2	地域移住サポーターを中心とした移住者の受入体制の整備 / 移住者交流事業として春の七草フェスタへの受け入れ
11 適地調査・土地活用	3	里山カフェ等、集いの場や学習拠点を市に要望 / （株）相愛と連携した薪割り作業の実施呼びかけ / 修景施設の整備を県・市に要望

●久重強靱化プロジェクト

事業名	取組数	主な取組実績
1 交通環境（交通）	2	予約（デマンド）型乗合タクシーの運行開始 / 補助金の交付
2 交通環境（道路）	2	県道高知本山線防災工事の竣工 / 市道一宮2号線（久礼野公民館前から久重小学校までの区間）の拡幅工事の実施
3 防災機能	5	民有地に対する災害時のヘリポート使用に関する協定の締結 / ヘリポート候補地の検討 / 高知市物資配送計画の策定 / 久重小学校の窓ガラスを強化ガラスへ取替 / プールろ過装置の改修
4 生活環境（飲料水）	4	飲料水供給施設実態把握調査の実施 / 施設台帳の作成 / 飲料水供給施設等整備事業費補助金の交付 / 中山間地域飲料水供給施設物価高騰対策臨時特例給付金の交付
5 生活環境（施設）	3	久重保育園の耐震補強工事、調理施設環境整備の計画支援 / 保育時間の延長 / 給食の実施
6 荒廃対策	5	有害鳥獣対策の実施 / 鳥獣被害防止柵の設置 / 鏡川流域の現地調査 / 久礼野里山保全会、久礼野地区住民へのヒアリングの実施 / 鏡川清流保全審議会における検討の実施
7 子育て環境	2	久重保育園の耐震補強工事、調理施設改修工事の実施 / 路線バスの定期券購入額の全額補助（校区外から久重小学校への通学距離が4 kmを超える場合に限り）

●久重情報発信・収集プロジェクト

事業名	取組数	主な取組実績
情報発信・収集	3	連携協議会ニュースによる地域情報の発信 / デジタル教室の実施 / 久重公式Instagram、Facebookによる情報の発信

3 久重地域のいまを知る



久重地域の歴史

久重地域は、久礼野、重倉の二つの地区からなり、高知市北部山地の東部を占めています。地域の前身である旧久礼野村及び重倉村は、1889年（明治22年）に旧一宮村、薊野村との合併で一宮村となり、約半世紀後の1942年（昭和17年）に高知市と合併しました。

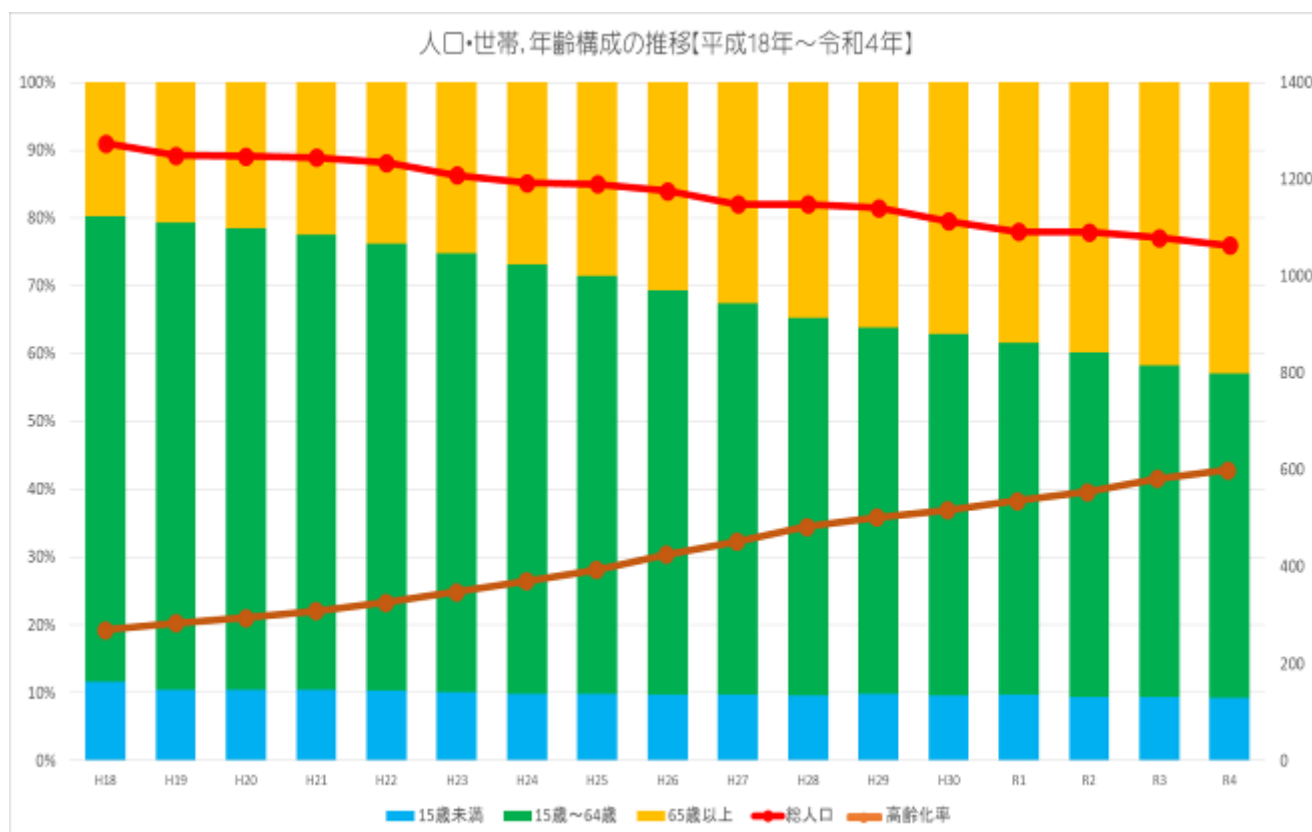
高知市史上巻では「重倉高地」と、一宮村・高知市合併50周年記念誌「一宮 未来に翔る」には「土佐の軽井沢」とも紹介されているように、地域の入口である小坂峠付近から北方に向けて、高原地形とは思えない里山の風景が広がっており、平野部よりも比較的冷涼で冬季は積雪が観測されるほか、季節に応じてホタルや希少植物の姿が見られます。一方、南方へ目を移すと、平野部から浦戸湾を経て土佐湾に至る雄大な眺望を楽しむこともできます。

また、若一王子宮や川内神社をはじめ、地域の皆さんにとってもなじみ深い神社が多く祀られているとともに、久礼野では城跡が確認されている等、地域内にさまざまな歴史資源も大切に受け継がれてきています。

これまでの久重地域の人口動態

2022年（令和4年）4月1日現在、久重地域では、約1,060人が暮らしており、2006年（平成18年）の1,274人から約200人の人口が減少しています。また、65歳以上の高齢者の割合が徐々に増加する一方、15歳から64歳までのいわゆる現役世代の割合が減少しています。

■久重地域の人口推移（各年4月1日現在 ※住民基本台帳より）



住民アンケート調査結果から見る久重地域

地域活動、防災等に関する住民アンケートを実施し、久重地域における現状や課題の洗い出しを行いました。

住民アンケートの調査結果は計画策定会議にて共有され、計画策定の基礎資料として使用されました。

●住民アンケート調査結果

調査対象：久重地域に在住する13歳以上の住民 983人

回収結果：回収数 306件（回収率31.1%）

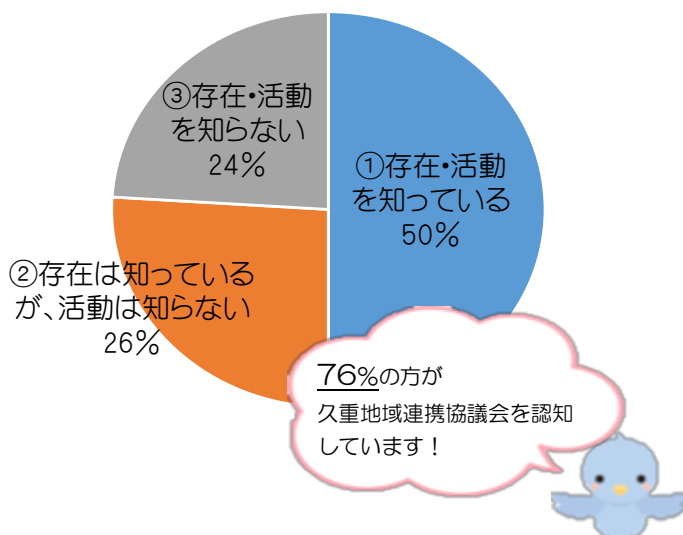
実施期間：2021年（令和3年）7月1日～7月15日



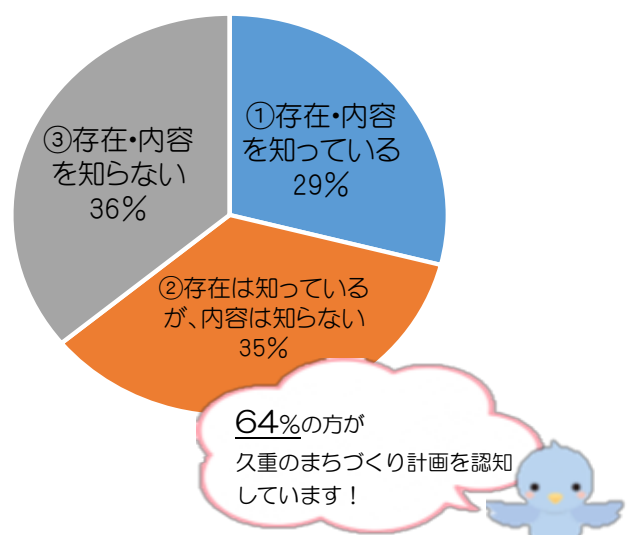
▲住民アンケート調査

住民アンケート調査結果 ※一部抜粋

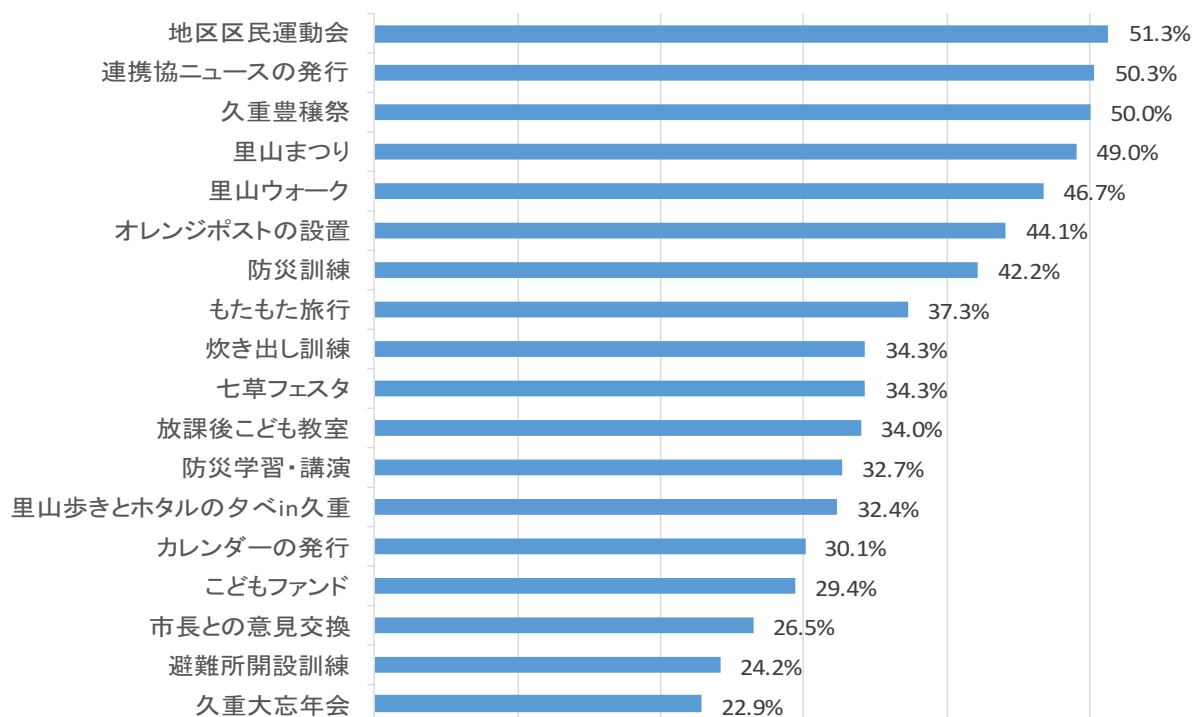
●久重地域連携協議会の認知度（選択式）



●久重のまちづくり計画の認知度（選択式）

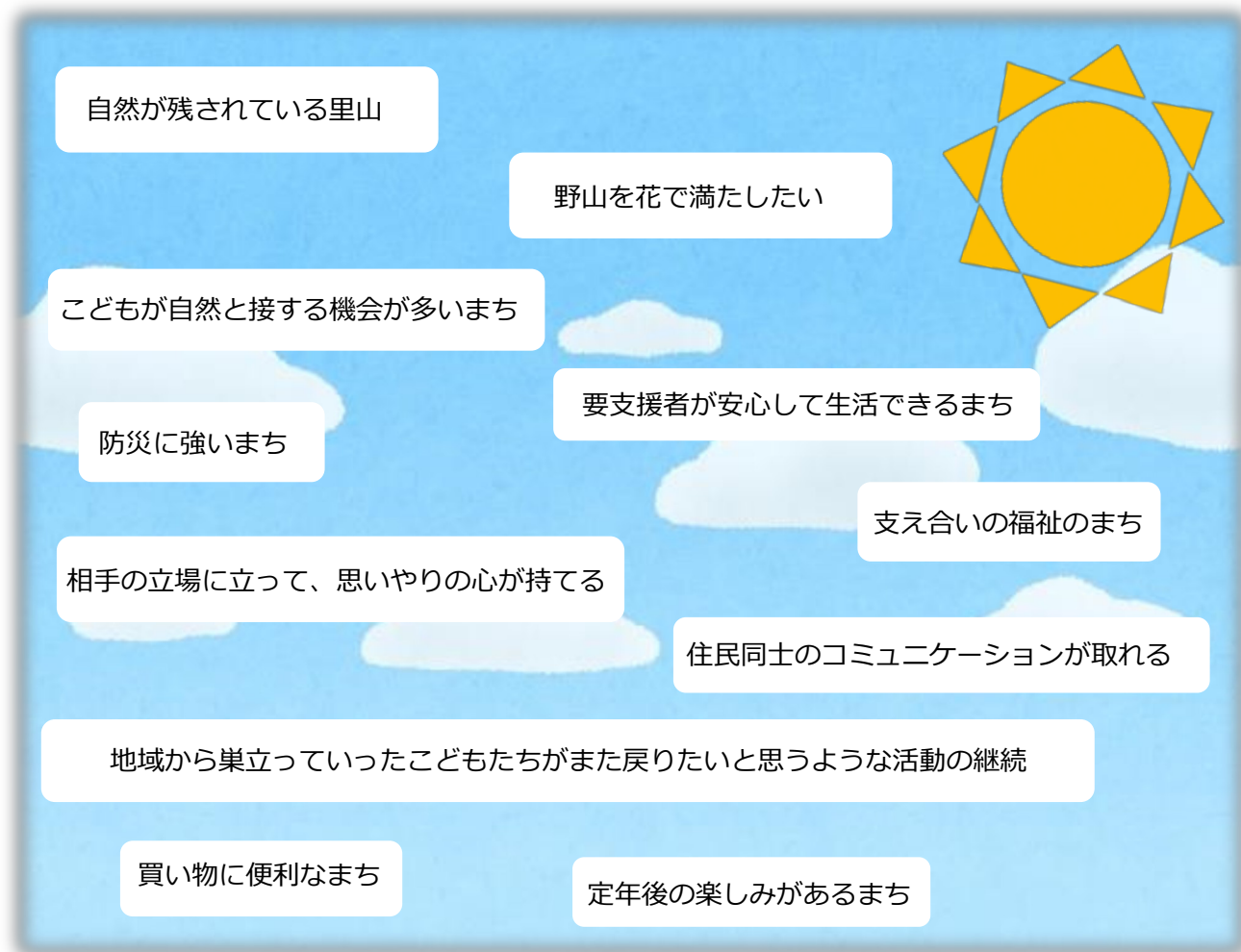


●久重地域連携協議会の主な取組の認知度（複数選択式）



住民アンケート調査結果 ※一部抜粋

● 5年後、久重地域になってほしい未来（自由回答式）



● 地域活動に関する重要度・満足度ランキング（5段階評価回答式） ※26項目中

	重要度	満足度
第1位	防災活動	地域の広報の作成
第2位	生活環境の整備	祭礼・イベント
第3位	福祉活動	防災活動
第4位	公共交通	美化・環境保全
第5位	美化・環境保全	スポーツ活動

⋮

⋮

第22位	史跡・地域の歴史に関する活動	日常的な相談ができる場や人
第23位	生涯学習活動（生きがいづくり活動）	生涯学習活動（生きがいづくり活動）
第24位	集いの場	史跡・地域の歴史に関する活動
第25位	「食」に関するイベント	空き家等の活用
第26位	SNS等のネットを活用した広報	土地・建物の活用

●久重の魅力・好きなところ・強み



ひと

- ・人との交流、近所の仲がいい
- ・地域の人との素晴らしい付き合いができる
- ・人柄
- ・周囲に身内がいる安心感



生活

- ・静かで涼しくのんびり過ごせる
- ・中心街に近く、適度に田舎
- ・近隣住宅との距離感がちょうどいい
- ・車の音があまりしない



自然

- ・空気がきれい
- ・自然豊か
- ・野菜や花を楽しめる
- ・気候がいい
- ・夜が静か
- ・野鳥が見える
- ・風が気持ち良い



子育て

- ・コロナ禍でも、こどもたちが気にせず散歩できる
- ・良い自然環境のなかでこどもを育てられる



土地

- ・高台で津波の心配がない
- ・土地、家の価格が安い
- ・市街地まで近く便利



久重地域の“人柄”や“自然”等に魅力を感じている方が多くいました！

久重地域の魅力を伸ばすとともに、地域内外へ発信していこう！



●久重の課題・困っているところ・弱み



生活

- ・上下水道がない
- ・断水や停電
- ・ネット環境が不安定
- ・交通の便が少ない
- ・土砂災害で県道が崩れて、通行できなくなることが想定される
- ・水道が通っておらず、雨が降らないと水不足になる
- ・高齢者の移動手段の確保



ひと

- ・若い世代のアンケート回答率が低い
- ・地域活動を担う人たちの高齢化が進んでいる
- ・10代～30代の転出超過
- ・支え合いの体制に対する不安



年齢	社会減計	社会増計	差し引き
0～4歳	66	95	29
5～9歳	57	65	8
10～14歳	48	32	-16
15～19歳	84	41	-43
20～24歳	176	139	-40
25～29歳	165	153	-12
30～34歳	136	117	-19

▲2021年（令和3年）11月時点 久重地域の社会動態

久重地域の課題では、少子高齢化や、生活環境（断水、停電等）等に関することが多くあげられました。

特に、免許返納後の移動手段の確保に不安の声が多くありました。



4 計画づくりの経過

年月	会議名	場所	協議内容	参加人数 ※行政職員含む
2021年（令和3年） 7月17日	第1回 計画策定会議	重倉公民館	久重の魅力と課題の洗い出し	44人
2021年（令和3年） 10月9日	第2回 計画策定会議	久重小学校 体育館	第1期久重のまちづくり計画の振り返り ①	44人
2021年（令和3年） 11月13日	第3回 計画策定会議	久重小学校 体育館	第1期久重のまちづくり計画の振り返り ②	42人
2021年（令和3年） 12月4日	第4回 計画策定会議	久重小学校 体育館	新たな事業の検討（まちづくり編①）	41人
2022年（令和4年） 5月14日	第5回 計画策定会議	久重小学校 体育館	新たな事業の検討（防災編）	52人
2022年（令和4年） 6月18日	第6回 計画策定会議	久重小学校 体育館	新たな事業の検討（福祉編）	55人
2022年（令和4年） 7月16日	第7回 計画策定会議	久重小学校 体育館	新たな事業の検討（まちづくり編②）	37人
2022年（令和4年） 10月8日	第8回 計画策定会議	久重小学校 体育館	参加したい、企画・運営に携わりたい取組の検討	32人
2022年（令和4年） 11月19日	第1回 計画冊子編集委員会	久重小学校 地域開放室	計画冊子の確認と改善点の検討	9人
2022年（令和4年） 12月10日	第2回 計画冊子編集委員会	久重小学校 地域開放室	計画冊子の確認と改善点の検討	11人
2023年（令和5年） 1月21日	第3回 計画冊子編集委員会	久重小学校 地域開放室	計画冊子の確認と改善点の検討	13人
2023年（令和5年） 1月28日	第4回 計画冊子編集委員会	久重小学校 地域開放室	計画冊子の最終確認	9人
2023年（令和5年） 2月11日	第9回 計画策定会議	久重小学校 体育館	計画案の最終確認	45人

はたけなかようこう 計画策定アドバイザー 畠中洋行さん

第1期久重のまちづくり計画の策定時から、計画策定アドバイザーとして久重地域に携わってくれています。第2期久重のまちづくり計画の策定にあたっては、畠中さんから、策定会議の流れや取組事業に関するアドバイスを頂きながら、地域と行政が協働で計画策定に向けて取り組んできました。



今回は、第1期久重のまちづくり計画の時と異なり、こどもたちが計画づくりに参加してくれていたことから、5年前には無かった視点・考えが多く出てきました。こどもたちの参加が計画に良いヒントを与えてくれたと思います。

(策定会議の様子①)

計画策定会議広報紙Vol. 1～9

計画策定会議で話し合った内容を広報紙にまとめ、久重地域の全世帯に配布して情報を共有しました！



◀ 広報紙の詳細は、こちらの二次元コード（久重地域連携協議会ホームページ）からご覧になることができます！



魅力・課題の洗い出し

第1回



久重地域の魅力や課題を話し合いました



▲第2期久重のまちづくり計画 広報紙Vol.1

第1期久重のまちづくり計画を振り返りました



▲第2期久重のまちづくり計画 広報紙Vol.2



計画の振り返り

第2回・第3回



新たな事業の検討 第4回・第7回

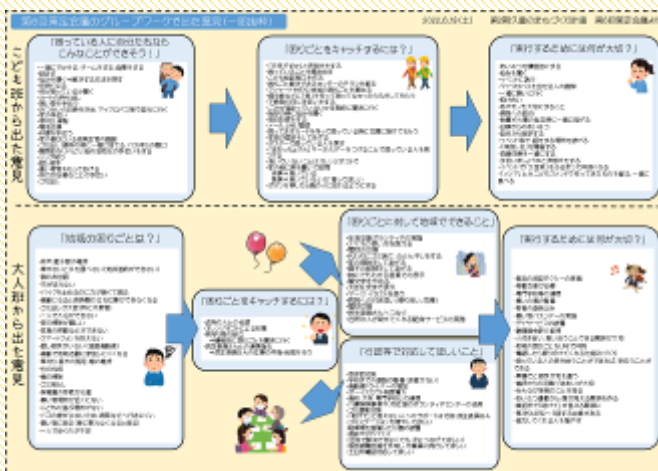


新たな課題を解決するための
取組を考えました

議題	議題	議題
議題1 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題2 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題3 新たな課題を解決するための取組を考えました	議題4 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題5 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題6 新たな課題を解決するための取組を考えました	議題7 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題8 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題9 新たな課題を解決するための取組を考えました

▲第2期久重のまちづくり計画 広報紙Vol.4

防災分野、福祉分野の取組について考えました



▲第2期久重のまちづくり計画 広報紙Vol.6



防災編・福祉編 第5回・第6回

自ら参加したい取組、企画・運営に
携わりたい取組について考えました

実施主体の検討 第8回



議題	議題	議題
議題1 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題2 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題3 新たな課題を解決するための取組を考えました	議題4 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題5 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題6 新たな課題を解決するための取組を考えました	議題7 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題8 新たな課題を解決するための取組を考えました 議題9 新たな課題を解決するための取組を考えました

▲第2期久重のまちづくり計画 広報紙Vol.8



(策定会議の様子②)

第1回〜第4回

編集委員会



11人の編集委員さんが計画冊子について検討しました！



▲第2期久重のまちづくり計画 計画冊子案！



計画冊子案の情報共有・最終確認
を全員で行いました！



▲第2期久重のまちづくり計画 広報紙Vol.9



計画案の最終確認

第9回



5 計画策定会議 参画者一覧

久重地域のみなさん（大人）

有賀 博子	板原 るみ	市原 佐知	岩本 光枝	加茂 太一	川村 祐太	杉本 一幸
高石 千香	武田 彩子	武林 由希子	土居 高子	浪越 篤彦	永野 登	永野 里奈
永野 幸雄	中平 美佐子	中屋 良弘	橋詰 辰男	林 照男	林 美恵	福谷 香恵
二川 益行	細川 美智子	前田 志峰	松本 真知	藪田 麻子	山崎 智加	山中 英世
山本 佐代子	山本 寛子	和田 昌雄				

久重地域のみなさん（学生）

有賀 朋樹 （中学生）	有賀 晴樹 （小学生）	有賀 美鈴 （小学生）	今久保 琴音 （高校生）	竹崎 万紗 （中学生）	武林 青空 （高校生）	武林 青海 （中学生）
武林 青星 （中学生）	土居 健人 （高校生）	土居 康人 （中学生）	土居 悠人 （小学生）	橋詰 倅奈 （高校生）	前田 歩飛 （小学生）	前田 香歩 （小学生）
松本 樺音里 （小学生）	山本 早穂子 （小学生）					

久重地域連携協議会の構成団体

久礼野自治会	久礼野団地自治会	入定地区	重倉地区会	緑ヶ丘団地町内会	久礼野公民館	入定公民館
重倉公民館	重倉緑ヶ丘団地公民館	久重自主防災連合会	久重体育会	久重小学校区青少年育成協議会	久重小学校区交通安全会議	久重小学校区人権啓発推進委員会
久重小学校	久重小学校PTA	高知医療生活協同組合久重班連合	久重保育園	久重保育園保護者会		

協力企業 株式会社 相愛

松岡 晃

関係課（高知市）

地域防災推進課	地域共生社会推進課	基幹型地域包括支援センター
---------	-----------	---------------

協力団体

高知市社会福祉協議会	布師田・一宮地域包括支援センター
------------	------------------

計画策定事務局（高知市）

地域コミュニティ推進課 谷 達也 / 横田 芽生 / 巽 政樹 / 石村 紗也香	地域活動応援隊（6名） 梶原 太 / 大石 浩二 / 西岡 勇 / 五百蔵 純一 / 福田 慧 / 佐野 聖奈
---	--

計画策定アドバイザー

畠中 洋行

6 編集後記

(編集委員さんの声①)

密を避けるため策定会議の会場は、久重小体育館。冬は寒い！大型ストーブを町でレンタルして運ぶという北山ならではの苦労をしながらの計画づくりでした。しかし、寒さに耐えて作ったものは、何でも濃くて味わい深いのです。

林 照男

初めての策定会議、編集委員会に参加し、不安はありましたが、みなさんと楽しく5年後に向けて考えることができ、本当に良い経験になりました。これからの、久重地域を若い方たちと一緒に盛り上げていきたいです。

土居 高子

地域の「これから」に関わることができて達成感がありました。

「久重naturalチーム」、さらに「久重youth^{*3}」での活動も加え、久重地域をもっともっと良い、こどもが思いっきり遊べて、大人になっても「帰って来たい」と思ってもらえるような地域にしていきたいと思っています。

武林 青空（高校生）

久重自主防災連合会の代表として編集委員会に参加しました。

今回の中高生の参加は、会議の場を新鮮にすることと未来を、意識せざるを得ないように思いました。

ほぼ同時進行で「久重の地区防災計画」を作成していましたので、途中どちらの会議をしているのかわからなくなりました、歳でしょうか？

二川 益行

小学校で地域探検や様々な活動をしてきたけど、まだまだ久重地域について知らないことがたくさんありました。策定会議の後に見える星空がとても綺麗でした。いつどこでもまた星空を見たらこの時の事を思い出すと思います。

変わっていく久重地域がいつでも帰って来れる、あたたかい場所であり続けてほしいなと思いました。

今久保 琴音（高校生）

「こうちこどもファンド」の活動を経験したこどもたちが、全9回の計画づくりのワークショップに参加し、地域の人たちの意見や想いをしっかりと聞いたり、大人では思いつかない提案等をしてくれたり、地域のこれからを担う一員として活躍している姿を見せてもらえて感動しました。

これからも、こどものチカラと大人のチカラが足し算されて、久重がより魅力的で住みよい地域になることを願っています。

畠中 洋行

こどもファンドの里山体験で第1期「久重のまちづくり計画」を活用しました。今回、第2期の策定に参加し、計画を作る過程や苦労を知りました。

私が久重に15年間住んでいるなかで思っていたことを言葉で伝えて、こどもファンドでは実現が難しかった要望（みんなが集まる場所等）も大人と話すことで実現されようとしているのが嬉しかったです。計画の中に自分の意見が入っていることにも感動しました。

武林 青海（中学生）

第2期となった久重のまちづくり計画ができあがりました。策定に当たっては、特にこどもたちの目線で地域の課題や解決策等、どのように取り組んでいけば良いのか、意見を出し合いながらまとめることができました。ここにはSDGs^{*2}の考え、精神がしっかり入っていて、まさに「豊かな里山次代につなげ」の目標に重みを感じるような気がしています。

地域の目指すべき共有の羅針盤ができあがり、向こう5年間どのように具体事業を進めて行くか世代を越えた取組が大切だと思います。

橋詰 辰男

(編集委員さんの声②)

始まりは、アンケートでした。次に、第1回策定会議へ。2回目からも出席し、1年半が経過しました。皆さんの久重地域を思う熱意に圧倒されました。また、こども達の、真剣に、考えて発言する姿を頼もしく思いました。

私は、山野草が育ち易い久重地域が大好きです。この貴重な花のことをこども達に知ってほしいし、地域の方とも語り合いたく思っています。

編集会議を終えた今、「久重地域の未来は明るい。」と、確信しています。

山本 佐代子

5年前に策定された「久重のまちづくり計画」冊子を見ながら…久重には何がある？どんなことができる？と、こどもたちと探ってきた。昔から久重の里山で大切にされてきたことや、先人の思いを知る手がかりの一つがこの冊子となるだろう。時代が急速に変化する今、久重地域の5年先10年先を次代へ引き継ぎながら…変わらない里山の資源を人から人へしっかりつないでいきたい。そんな架け橋となる第2期の冊子がみなさんの道しるべとなりますように！

武林 由希子

策定会議案内ポスターやまちづくり計画冊子、ホームページ等で、様々な写真を採用していただきました。風景写真も人物写真も、地域内外の方に久重地域の魅力を知っていただきたい一心で撮っています。また5年先のまちづくり計画に向けて写真を撮りためるべしで、四季折々の里山を散策します！

まだまだ私たちの知らない久重地域の景色があるかもしれません。

山本 寛子

久重地域の担当者として、こうして第2期計画の策定に携わることができて本当に嬉しく思います。夜遅くまで策定会議に協力してくださった皆さまには本当に感謝しかありません。策定会議では、こどもから大人まで様々な世代の方が地域課題に向き合い、議論を交わす姿を見て、地域を思う気持ちには年齢は関係ないと感じさせられました。これからも久重地域の皆さまが世代を超えて交流し、自由に意見が言えて活躍できる、そんな地域であり続けてほしいです。

巽 政樹

(地域活動応援隊の声)

地域活動応援隊として地域活動のサポートをさせていただき、久重地域の魅力ある自然と人のよさ、一方で水不足という不安の大きさも知りました。

「第2期久重のまちづくり計画」という取組によって、人のよさからくる住民同士のコミュニケーションの環が続き、こどもにとって久重地域がのびのびと暮らせる場所であり続けてほしいと思います。

西岡 勇

参加する地区の状況が分からない地区外からの出席者の私は、会議でよくある沈黙が続くことがあるのではないかと考えていましたが、ここでは会話や意見が止むことなく会議が進行していくことがまず驚きでした。

参加しているこどもたちが活発に意見を述べることで、会議最後のグループごとの発表をすらすらと行うことにも驚きました。また、会議全体でこどもたちの発表を見守る雰囲気が出来上がっていることが本当に新鮮でした。

梶原 太

久重地域の魅力を次世代に繋いでいくため、こどもから大人まで様々な視点で、次々と多種多様なアイデアが出てくることに、久重地域に暮らす皆さんの「久重愛」を感じました。私自身、策定会議に参加し、久重地域の魅力を知れるきっかけとなりました。ありがとうございました。

佐野 聖奈

策定会議はいつも世代を超え議論が盛り上がり、このまちの明るい未来を願って作りあげてきた物だと思います。年齢関係なくみんな仲が良いから自由に意見を言え、それが形となっていく。この一丸となって考えてきたことは着実に実を結んでいくと思います。

五百蔵 純一

7 用語集

NO	用語	ページ数	説明
1	久重型共生社会	1, 5	地域で様々な困難を抱えている人を孤立させず、公的サービスとともに、身近な地域住民で助け合いながら、適切な支援・解決につなげていくことを目指すものが地域共生社会。久重型共生社会とは、医療機関や相談機関がないという特殊な条件のもとで、地域の特性を活かした独自の方法で地域共生社会の実現を目指していくもの。
2	SDG s	1, 4, 49	SDG s（持続可能な開発目標）とは、2015年（平成27年）9月25日に国連総会で採択された、持続可能な開発のための17の国際目標。久重地域でできる身近な目標として「6 安全な水とトイレを世界中に」「11 住み続けられるまちづくりを」「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさを守ろう」に注目し、こどもたちと共に取り組んでいる。
3	久重youth (ユース：わかもの)	1, 22, 49	久重地域連携協議会を構成する部会の一つであり、久重地域に関わるこども・わかもので構成されている。
4	持ち寄りカフェ	12	参加者がお菓子等を持ち寄り、お茶をしながら意見交換する場。
5	福祉農園	12	福祉施設等での健康づくり、生きがいづくりを目的として農作業を活用する取組。
6	支え合いマップ	13	ご近所同士の見守り・助け合い等の共助の推進を図ることを目的に作成するマップ。
7	向こう三軒両隣	13	自分の家の向かい側三軒と、左右二軒の隣家の合計五軒を指す。
8	ネグレクト	13	児童虐待の一形態。こどもの食事や衣服の世話を怠ったり、長時間放置したりするなど養育を放棄すること。育児放棄。
9	感震ブレーカー	16	設定値以上の地震の揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断し電気出火を防ぐ効果的な器具。
10	垂直避難訓練	19	水害や土砂災害などの災害発生時に今いる建物やすぐ目の前にある建物の2階以上のなるべく高層階へ移動する避難方法。
11	パッククッキング	19	耐熱性のポリ袋等に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法。
12	LC (Look&Check)運動	20	道路の不具合等を見て、確認する運動。
13	人財データ	22	人財に紐づく情報（基本情報、特技等）を記したもの。
14	クラウドファンディング	24, 25	インターネットを通して、地域の活動等を発信することで、その活動に共感した人や応援したい人から資金を募る仕組み。
15	野の花	26	野に咲く花。
16	景観作物	26	耕作放棄地や田畑に、見て楽しむとともに観光等にも活用することを目的に植えられた植物。

高知市コミュニティ計画

第2期久重のまちづくり計画 2023-2027

編集・発行 令和5年3月

久重地域連携協議会

高知市 地域コミュニティ推進課

